SONY

ハンディ
ナビゲーションシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「取付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「取付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お買い上げのお客さまへお願い

本機は今後、各種拡張ユニットの接続による機能の拡張や性能の向上のためのバージョンアップを予定しています。お買い上げいただいたお客様には、今後のバージョンアップディスク情報などを一定期間ご愛用者カードをもとにお送りいたします。
つきましては、付属のユーザー登録カードに必要事項をご記入のうえ、切り離して、必ずご返送いただきますようお願いいたします。

Handy Navigation System コロンブス

naviken COMPACT DISC DIGITAL AUDIO VICS GPiex

VICSは財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

GPX-V55

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ 安全な場所に車を止める
❷ 電源を切る
❸ お買い上げ店または ソニーサービス窓口に 修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

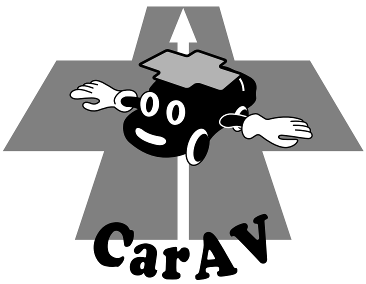
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災 感電 指挟み

行為を禁止する記号

禁止 分解禁止



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

目次



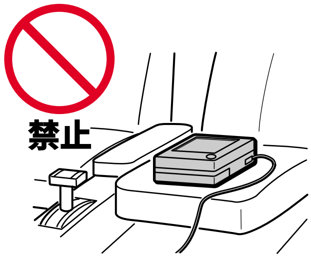
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に相談する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

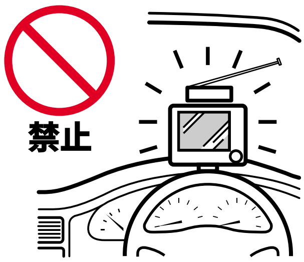
万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

自動車の中で使うときはカーステーションに取り付ける



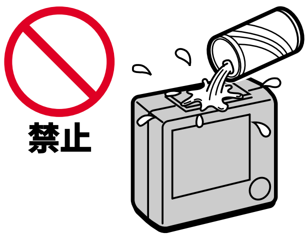
本体やGPS/FMアンテナをカーステーションに正しく固定しないと、落下により事故やけがの原因になります。
- 助手席のエアバッグシステムの動作の妨げにならない場所に取り付ける。
- 車内では運転者の妨げにならないように、リモコンで操作する。

前方の視界を妨げる場所に取り付けない



運転者の前方に取り付けたり、本体にGPS/FMアンテナを取り付けたまま固定しないでください。また、GPS/FMアンテナのロッドアンテナをのばして使用しないでください。視界の妨げになり、事故やけがの原因となります。

内部に水や砂などの異物を落とさない

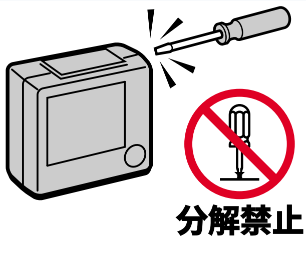


水や砂などの異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や砂などの異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

分解や改造をしない



火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

船舶、航空機の主航法装置としてや、登山での主地図としては使用しない

本機では、測位誤差が生じたり、電池が切れると地図が見られなくなり、事故やけががの原因となることがあります。

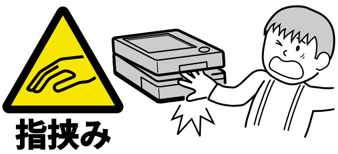
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



幼児の手の届かない場所に置く

ふたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



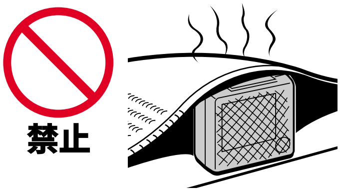
液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



本機の概要

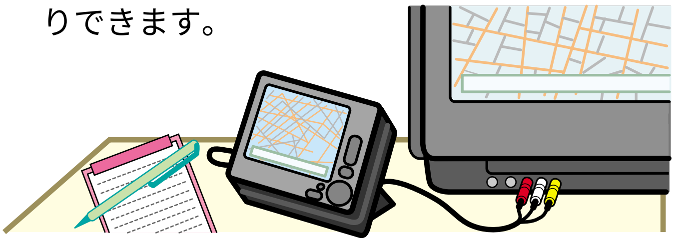
GPX-V55は、こんなところで使えるナビゲーションシステムです。

家の中で

（詳しくは別売りホームステーションを参照）

ドライブに行く前に、出かける所の地図とルート確認ができます。

別売りのホームステーションXA-86NVを使うと、家庭用電源を使って家のテレビで地図を見ることができます。旅行計画などをテレビに映して、家族や友人と確認したりできます。



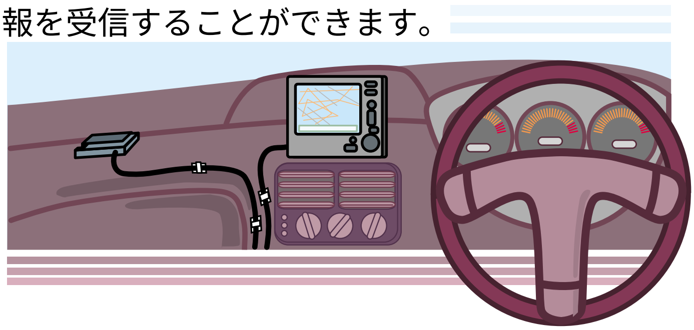


ドライブ中の車の中で

（詳しくは8ページ）

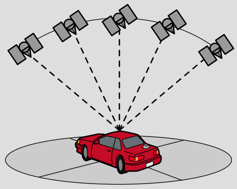
走行しながら、ルートガイドや、目的地までのナビゲーションを行います。

本体をカーステーションに取り付けて、車内でナビシステムとして、利用することができます。また、専用の受信器を内蔵しているのでVICS情報を受信することができます。



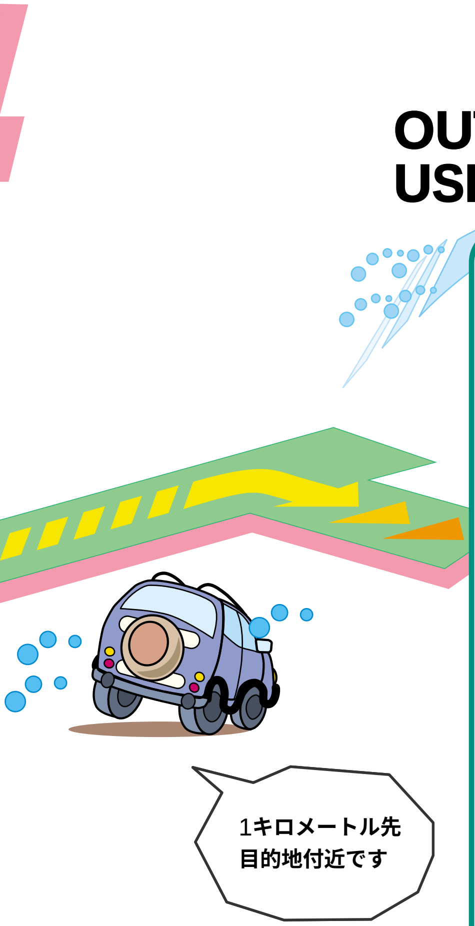
現在地はGPS衛星からの電波でわかります

迷ったときに、今どこにいるのか地図帳を開くまでもなく、本機の画面上には自車の現在地が表示されています。現在地はGPS衛星からの電波を利用して割り出しています。
現在地を測位するには最低3個のGPS衛星の電波を受信しなければなりません。また、4個以上の衛星電波の受信ができると、より高い精度での測位が可能になります。





OUTDOOR USE



目的地に着いたら車外へ持ち出して

（詳しくは69ページ）

別売りのバッテリーを使って、屋外へ持ち出して使うことができます。

ハイキングやサイクリングに出かけたとき、または、キャンプ地などで地図の確認をしたり、FM文字多重放送が楽しめます。
また、別売りTVチューナーXT-15NVを接続してテレビを見ることもできます。



車の中で使う

カーステーションに取り付けて、車内で本機を使います。
車内で使うときは、安全のために必ずカーステーションに接続してお使いください。

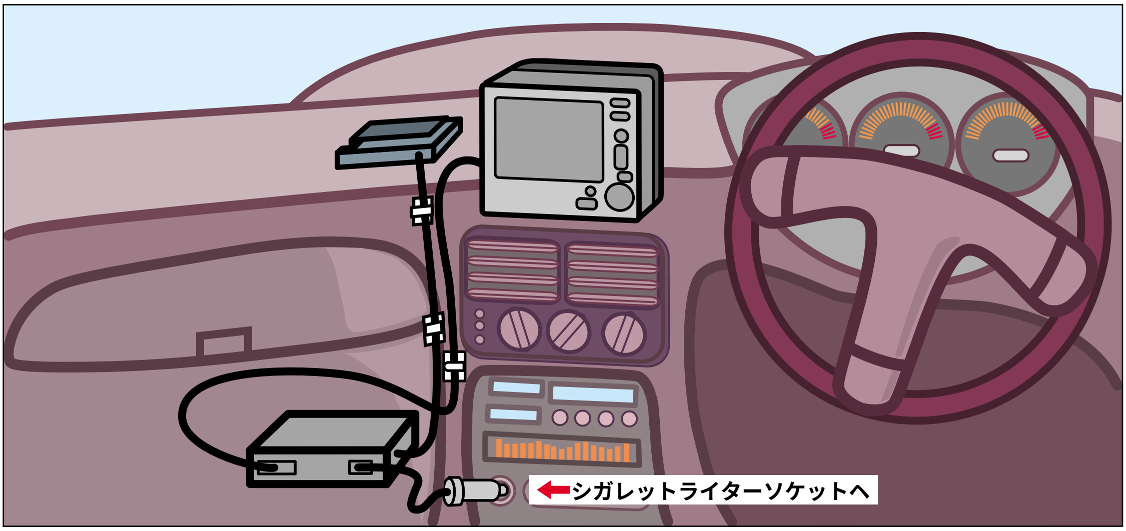
カーステーションを使うと、別売りの拡張ユニットが接続できるようになります。自律航法ユニットや、音声認識ユニットなどの多彩なシステムアップが可能になります。
また、別売りのナビシステム専用TVチューナーユニットXT-50NVの接続で、停車中に車内でテレビを楽しむこともできます。
DGPS、VICSなどのFM多重放送を車内で受信するには、別売りのアンテナ分配ブースターユニットXA-46FMまたは別売りアンテナVCA-14が必要です。

(取り付け方法については、本機と各拡張ユニットの「取り付けと接続」をご覧ください。)



電源は

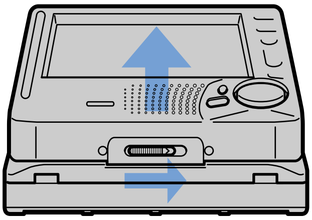
本機に付属の電源コードをシガレットライターソケットに接続します。(12V⊖アース車専用)
詳しくは「取り付けと接続」をご覧ください。



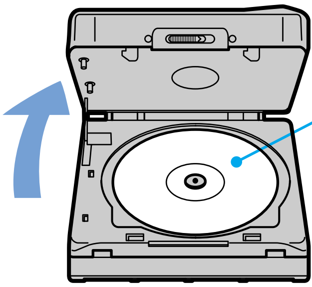
準備

ディスクを入れる

1 **まず画面を上にして本機を安定した所に置き、スライドスイッチを横にずらす**

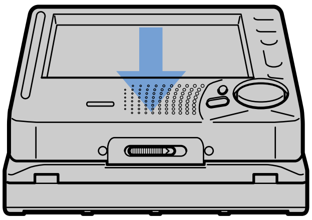


2 **ふたを止まるまでしっかり開き、ディスクを入れる**



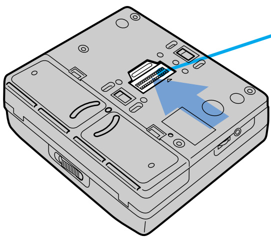
3 **静かにふたを閉める**

カチッと音がするまで押します。



4 **カーステーションに取り付ける**

裏面のシャッターを開いてからカーステーションに取り付けてください。



車内で使うときは、必ずカーステーションに取り付けてお使いください。

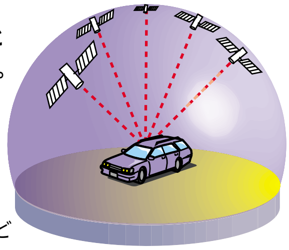
ご注意

本体に別売りのバッテリーが入っていると、カーステーションに取り付けることができません。（ダッシュボードの上などは、車内が夏期などは高温になるので、安全のため、取り外すようにしています。）
カーステーションへの取り付けについて詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

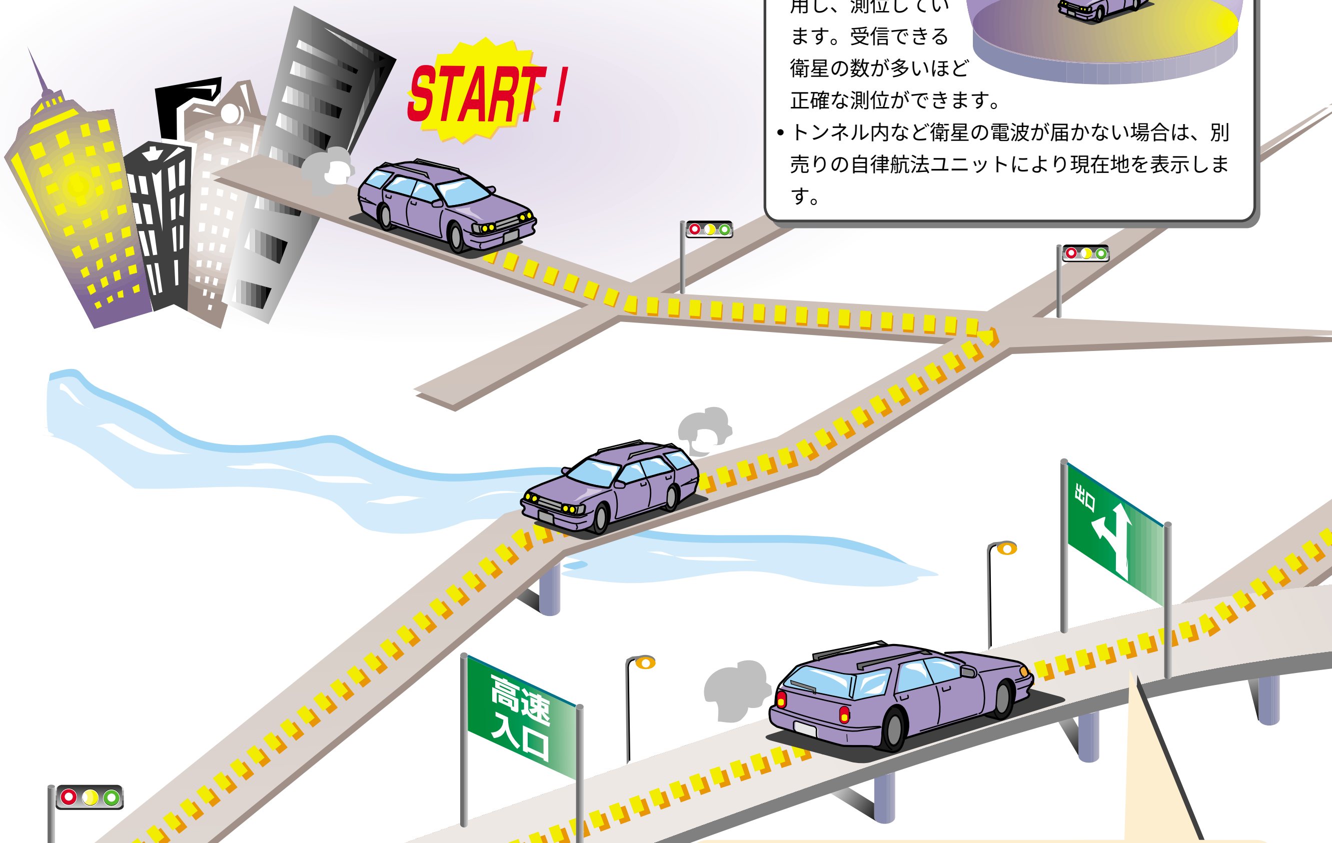
ルートガイド
道案内の概要

あなたが決めた目的地に向かって、参考ルート（道順）を画面に表示します。あとはそのルートに沿って走るだけです。

現在地は
GPS衛星からの電波と自律航法で分かります。



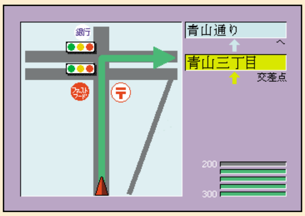
- 通常はGPS衛星3個以上の電波を利用し、測位しています。受信できる衛星の数が多いほど正確な測位ができます。
- トンネル内など衛星の電波が届かない場合は、別売りの自律航法ユニットにより現在地を表示します。



高速道路の分岐点では
詳細図を表示し、進行方向をお知らせします。（ジャンクションガイド機能）



交差点では
音声と矢印、交差点拡大表示で曲がる方向をお知らせします。
地図上には、参考ルートが黄色の破線で表示されます。





道を間違えても
現在地は一目瞭然。しかも、もとの参考ルートへ戻るルートを表示します。

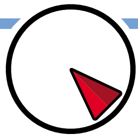
ドライブ中に買い物や食事などが必要になったら
最寄りのコンビニエンスストアやレストランを調べることができます。目的に応じてカー用品店、ファーストフードなど20項目があります。
（最寄り表示機能：項目は地図ディスクにより異なります）



渋滞、工事中、駐車場の有無などは
VICS機能により、リアルタイムの情報が入手できるので、別の道を選んだり、どこの駐車場が空いているか事前に知ることができます。

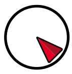
ご注意
- 操作について詳しくは、「道案内をさせる」（14～17ページ）をご覧ください。
- 本機の機能をお使いになるには、各機能に対応した地図ディスクが必要です。詳しくは、「ルートガイド中の便利な機能」（22ページ）をご覧ください。

現在地を知る



「自車マーク」が現在地を示します

本機は現在地と進行方向を自車マークとして表示します。GPS衛星の受信状態によって、自車マークは以下の3種類のなかから表示されます。
受信や誤差について詳しくは73ページをご覧ください。



正常に測位を行っている

3個以上の衛星の電波を受信中です。



測位できない*

衛星の電波を受信できない状態です。

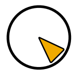


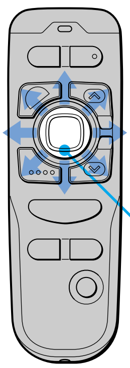
測位できない

アンテナユニットがはずれている状態です。



* 別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続すれば、衛星電波を受信できない状態でも、現在地を表示できます。
自律航法のみで測位しているときの自車マークの表示は以下のようになります。





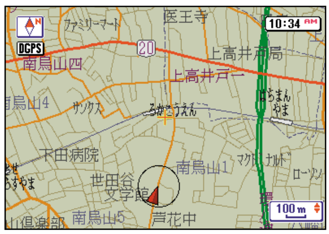
カーソルボタンを押すと、地図が動きます

車を走らせると、自車マークとともに地図の表示も自動的に変化（スクロール）します。
また、リモコンのカーソルボタンを押すと、地図の表示範囲を任意に変えることができます。

カーソルボタンを上向きに押すと..



地図の表示範囲が変わり、前方に国道20号線があるのがわかる



カーソルボタンで地図を動かした後は、現在地ボタンで元の地図に戻してください。

操作のしかた

取り付けと接続はお済みですか？（「取り付けと接続」参照）

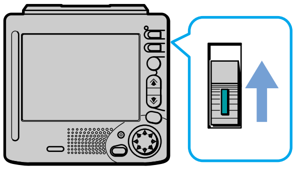
ちょっと一言

ディスク情報画面について

詳しくは「地図ディスクの種類などを見る」（41ページ）をご覧ください。

1 電源スイッチの緑色の部分を押しながらスライドさせる

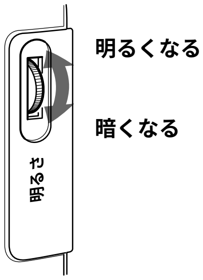
電源が入り、初期画面、ディスク情報画面が表示されたあと、自動的に地図画面になります。



ちょっと一言

画面の明るさを調節するには

本体の側面にある、明るさつまみを使います。

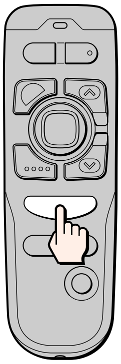


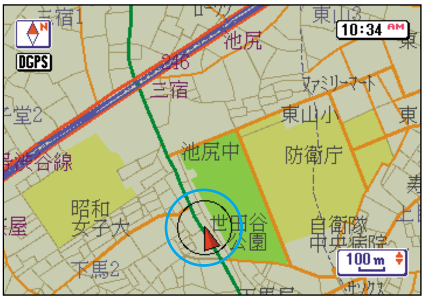
ご注意

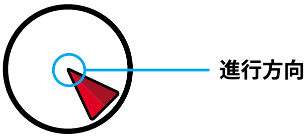
車によってはキーをOFFにしても通電している場合があります。バッテリーが上がらないよう、電源を切るときは必ず電源スイッチを「切」にしてください。

2 現在地ボタンを押す

地図上に現在地を示す自車マークが表示されます。





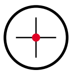


電源を切るには

電源スイッチの緑色の部分を押しながらスライドさせます。

ご注意

- 受信状態によっては、自車マークを表示するまでに約20分ほどかかることがあります。また、以下の場合は自車の進行方向が検出できず、自車マークの表示が右のようになることがあります。
  — 本機を初めて使うとき
  — リセットボタンを押したとき
  — 別売りの自律航法ユニットXA-150Sを本機に接続して初めて使うとき、または接続をやり直したとき



- 別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続すると、〝詳細地図〟上で自車位置を表示することができます。ただし、マップマッチングが働いていないと現在地を表示できないことがあります。マップマッチングの動作確認は「自律航法ユニットの動作を確認する」(66ページ) をご覧ください。

道案内（ルートガイド）をさせる（EZ（イージー）ルート設定）

目的地への道順は黄色の破線で、曲がる方向を矢印で示します

あなたが決めた目的地への道順（ルート）を黄色の破線で表示し、このルートに沿って矢印で道案内をします。また、別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続すると、ルートに沿って音声で道案内をし、交差点が近づくと画面全体に交差点を拡大表示し、曲がる方向をお知らせします。交差点を拡大表示するには、「ルートガイドの設定」（57ページ）で交差点拡大を「ON」にしてください。

交差点拡大表示は

自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、交差点が表示されます。



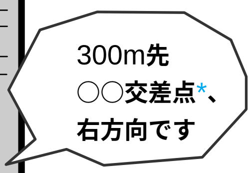
方位表示
- 自動回転時
- 固定時

交差点位置

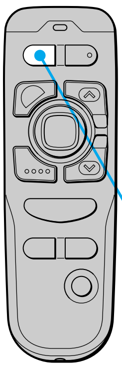
交差点名／走行道路名
交差点名／走行道路名は、ルートガイドを行わないときでも表示することができます。(別売りの自律航法ユニットXA-150S接続時のみ)

「目的地」「経由地」までの距離を表示

ルート（道順）は黄色の破線で表示

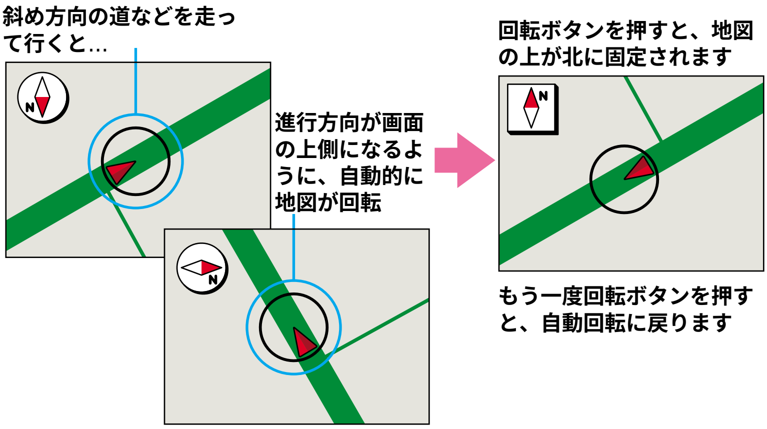


* ディスクに名前が収録されていない交差点名は案内されません。



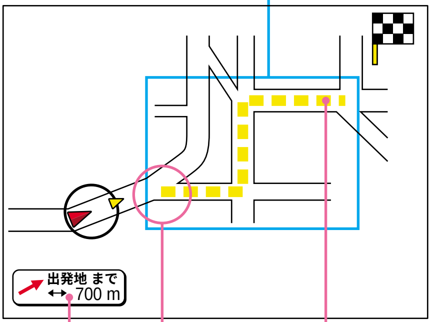
回転ボタンを押すと、地図の回転が固定されます

通常は、自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、地図画面は90度単位で自動的に回転します。画面の動きを固定したいときは、回転ボタンを押すと、地図の上が北に固定されます。地図を回転したとき、地名などの文字が重なることがあります。



道案内(ルートガイド)の流れ

ルートに乗ってからは、
音声による目的地までの
ルートガイド



ルート表示（黄色の破線）

最初の交差点

一番近い交差点までの
残りの距離

本機のみの場合

ルートの表示は現在地から一番近い交差点から始まります。ルートに乗ると、目的地に向かって、矢印で曲がる方向を案内するルートガイドが行われます。

別売りの自律航法ユニットを使うと

矢印に加えて、音声と交差点拡大表示でより正確なルートガイドが行われます。音声の案内について詳しくは「音声ガイド一覧」（23ページ）をご覧ください。

ルートから外れても

ルートガイド中に自車がルートから大きく外れると、その場所からルートに復帰するまでのルートを探して表示します。ただし、自車がルート探索対象外の道路を走行している場合は、ルート探索対象道路に出た時点から復帰ルートを探索します。（リルート機能、22ページ）。

目的地または目的地に一番近い交差点に到着すると

目的地に一番近い交差点に到着すると、音声によりルートガイドの終了をお知らせします。

トンネルに入っても

道案内途中にトンネルなどで衛星電波の受信がさえぎられても、自律航法ユニットの働きで測位が可能です。

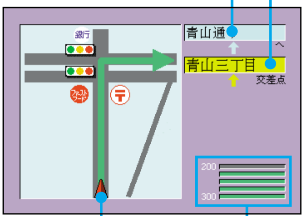
高速道路では

ジャンクションガイド機能により、高速道路の分岐点の詳細図と進行方向を表示します。（ジャンクションガイド機能、22ページ）

交差点拡大画面

交差点名

進行方向の道路名

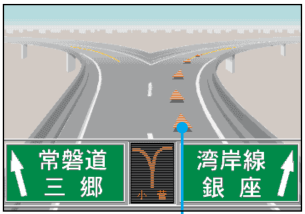


自車マーク

交差点までの距離（メートル）＊
自車マークが進み始めると数字に変わります。

＊交差点までの距離は、おおよその数値です。

高速道路の分岐点拡大画面



進行方向イメージ

別売りの自律航法ユニットを接続したら

「ルートガイドの設定」（57ページ）の音声ガイド、リルート、交差点拡大の各項目を「ON」にしてください。

ちょっと一言

本機のみでも音声ガイドやリルート機能、交差点拡大表示機能を使うことができます。このときは、「ルートガイドの設定」（57ページ）の音声ガイド、リルート、交差点拡大の各項目を「ON」にしてください。ただし、衛星電波の受信状態などによっては、これらの機能が正しく働かないことがあります。

次のページへつづく

「道案内をさせる」つづき

操作のしかた

ちょっと一言

目的地が遠いときは

地図帳で探すときと同様に、おおよその場所を広域な地図で決め、そのあとに詳細な地図で目的地を探すと、目的地を早く設定することができます。地図の縮尺を変えるにはズームボタンを使います。



さらに詳細／広域画面があるとき

縮尺表示部に▲（広域）、▼（詳細）マークが出ます。

〝詳細地図〟に対応した地域版などのナビ研S規格の地図ディスク（市販）をお使いになると、さらに詳細な尺度の地図をご覧になれます。 詳しくは、販売店にお問い合わせください。なお、本機に付属されている全国版地図ディスクに〝詳細地図〟のデータは収録されていません。

地図画面の縮尺表示部に▼マークが出ていたら、ひとつ下の縮尺に〝詳細地図〟があります。また、現在の地図が〝詳細地図〟の場合は、縮尺表示の色が変化します。

ご注意

別売りの自律航法ユニットを接続していない場合は、詳細地図上で現在地を測位することはできません。

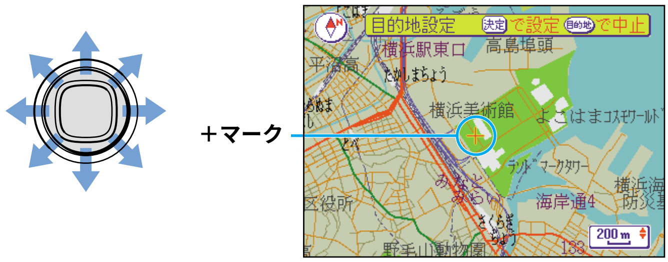
- ルートを表示するには自動経路探索対応のナビ研S規格の地図ディスクをお使いください。
- 目的地の設定は、地図を北上に固定すると行いやすいです。

1 目的地ボタンを押す

目的地を設定する画面になります。



2 カーソルボタンで地図を動かして、＋マークを目的地に合わせる



目的地が自宅の場合は

すでに自宅が設定されている場合、目的地ボタンを2秒以上押すと、自宅を中心とした地図が表示されます。自宅の設定については、「自宅を地図に登録しておく」（35ページ）をご覧ください。

3 決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。そのあと、周囲のデータを確認し、設定した地点が有料道路と一般道路のどちらにも近いときは、確認のメッセージが出ます。



ちょっと一言

探索条件を変えるには

手順４で、出発地が有料道路上にあるときは「有料道路上」に、有料道路を優先するときは「有料道路」に、フェリーを使用するときは「優先する」に▶をあわせて決定ボタンを押します。

探したルートを修正するには

現在地と目的地の間に「経由地」を追加することによって、探したルートを修正することができます。詳しくは24ページをご覧ください。

手順を省略するには

地図画面上で、＋マークが目的地に合っているとき、目的地ボタンを2秒以上押すと、その場所が目的地として設定され、手順4の画面になります。

ご注意

〝詳細地図〟に次の情報は表示されません。

• 参考ルートの黄色い破線
• VICSのレベル3情報

⚠警告

本機の道案内を使用して運転をする場合でも、実際の交通法規（一方通行、進入禁止など）を必ず守ってください。

ご注意 (別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続した場合)

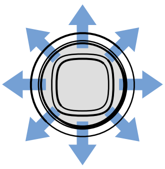
次のようなときは、ルートガイドが正しく行われません。

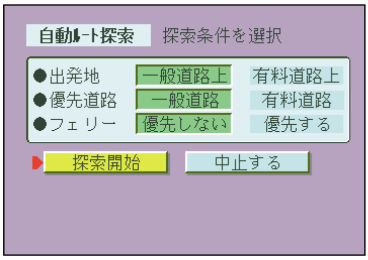
• マップマッチングが働いていないとき
• 車速センサーなどが取り付けられていないときなど

詳しくは、「自律航法ユニットの動作を確認する」(66ページ) をご覧ください。

4 カーソルボタンで「ルート探索開始」に▶をあわせる

必ず画面上の「●探索条件」を確認してください。





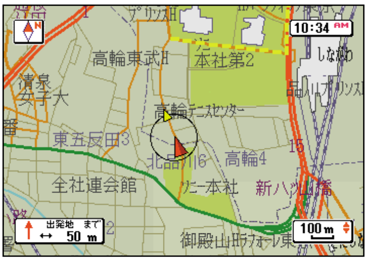
5 決定ボタンを押す

ルートを探し始めます。探索が終わると地図画面に戻り、黄色い破線で参考ルートが表示されます。音声と表示で道案内の開始をお知らせします。



探索終了後、一時的に縮尺を変更し、全ルートを表示します。その後、元の縮尺に戻り道案内を開始します。

全体表示の間にカーソルボタンを押すと、その縮尺のまま道案内を開始します。



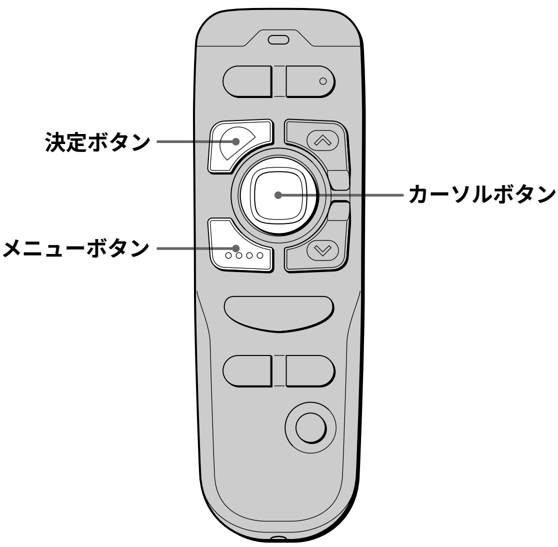
道案内が始まります

道案内を終わらせるには

「ルートガイドを終了または再開する」(28ページ)をご覧ください。

メニューの選びかた

メニューの選びかたを一度覚えると、本機のほとんどの操作ができます。



ちょっと一言

現在地ボタンを押すと、メニュー画面から地図画面へ簡単に戻れます。

地図画面でメニューボタンを2秒以上押すと、前回選んだメニューが表示されます。

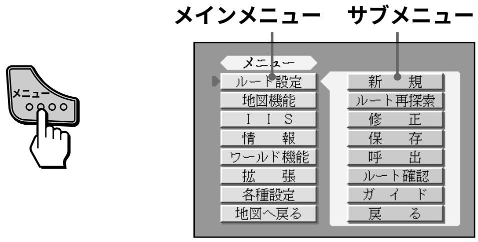
メニューを選ぶ

メニューの選びかたは、カーソルボタンで▶を合わせて、決定ボタンを押すだけです。

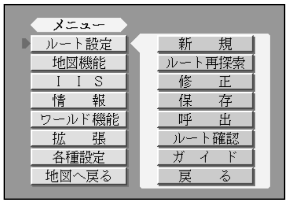
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

右側には▶のある項目で設定する項目 (サブメニュー) が表示されています。

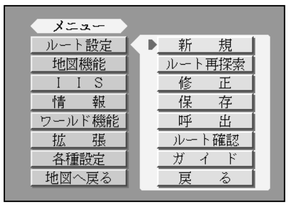


2 カーソルボタンを上下に押して、必要な項目に▶を合わせる



3 決定ボタンを押す (またはカーソルボタンを右に押す)

▶がサブメニュー (右) に移動します。



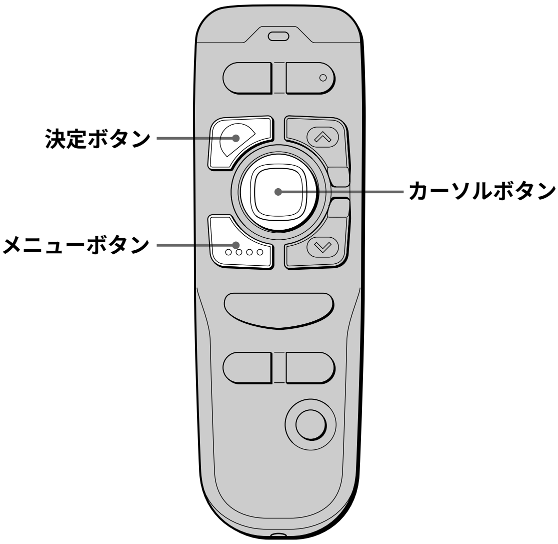
カーソルボタンを左に押すと、メインメニューに戻ります。

4 サブメニューの必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

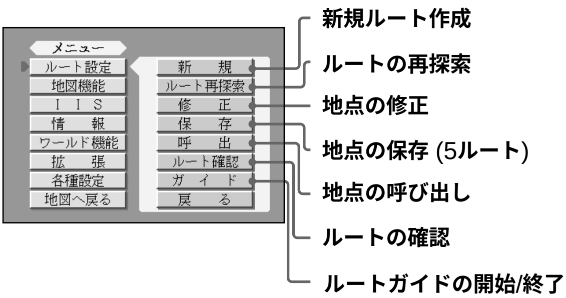
それぞれの機能画面になります。

ルートガイドを使いこなす

友人との待ち合わせ場所などを「出発地」にして、途中で立ち寄りたい場所を「経由地」に設定しておくと、計画に沿ったルートでドライブを楽しむことができます。
「ルート設定」メニューでは、さらに設定したルートの修正、保存と呼び出し、ルートの確認ができます。



ルート設定に関する操作は、「ルート設定」メニューにまとめられています。走行中には操作できません。

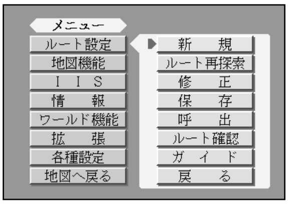


出発地や経由地を任意に設定してルートを探す

はじめに「出発地」、「経由地」、「目的地」を順に設定して、新規ルートを表示させてみましょう。

1 **メニューボタンを押す**

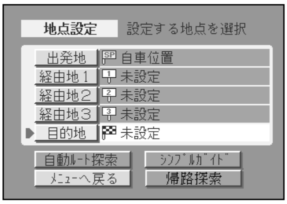
2 **「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



3 **「新規」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

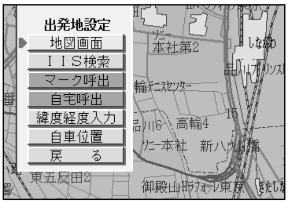
「地点設定」画面になります。

目的地設定が選択された状態で、出発地だけが「自車位置」になっています。



4 **「出発地」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

出発地の設定方法を選ぶ画面になります。

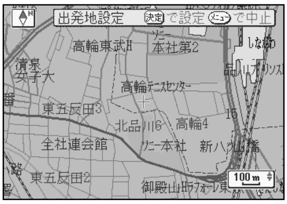


次のページへつづく

5 「地図画面」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

他の設定方法については「より早く目的地を探す」(30ページ) をご覧ください。

6 カーソルボタンで＋マークを出発地に合わせる



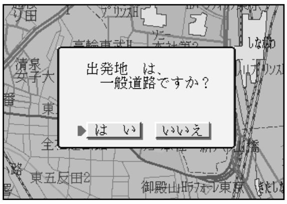
見たい場所をより早く探すには

最初に広域な地図でおおよその位置を探し、次にズームボタンでより詳細な地図を選びます。

7 決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、出発地が設定されます。そのあと、周辺のデータを確認し、設定した地点が有料道路と一般道路のどちらにも近い場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。

「周辺のデータを確認しています」



「はい」または「いいえ」に▶を合わせて決定ボタンを押します。



一般道は黒文字、有料道路は赤文字で表示されます。

8 「経由地1」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

経由地の設定方法を選ぶ画面になります。



9 手順5〜7を行う

＋マークが旗マークに変わり、経由地1が設定されます。そのあと、経由地1が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

経由地は3地点まで設定できます。

「経由地2」、「経由地3」を設定する場合は、「経由地2」、「経由地3」に▶を合わせて決定ボタンを押し、手順5〜7を繰り返します。

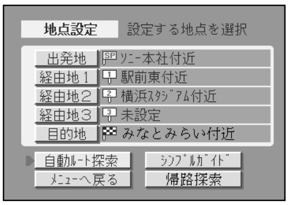
10 「目的地」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

手順8と同様の目的地の設定方法を選ぶ画面になります。

11 手順5〜7を行う

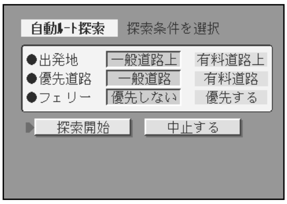
＋マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。そのあと、目的地が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

12 「自動ルート探索」に▶を合わせる



13 決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。



現在選択されている項目を変更する場合は、カーソルボタンで項目を選び、決定ボタンを押してください。

出発地：探索を開始する地点が有料道路上にある場合は、「有料道路上」に設定してください。

優先道路：有料道路を優先してルートを表示させる場合は、「有料道路」に設定してください。

フェリー：フェリーを使う場合は「優先する」、使わない場合は「優先しない」に設定してください。

14 「探索開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

自動ルート探索が始まり、ルート探索完了後、地図画面にルートが表示されます。

探索終了後、地図画面はルート全体を見ることのできる縮尺に一時的に変更され、元の縮尺に戻って道案内を開始します。

全体表示の間にカーソルボタンを押すと、その縮尺のまま地図をご覧になれます。

ちょっと一言

- 出発地、経由地、目的地は、どの順序で設定することもできます。
- 複数の経由地を設定した場合は、経由地1、経由地2、経由地3の順にルート探索が行われます。

ご注意

次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されます。

- 自動経路探索機能に対応したナビ研S規格の地図ディスクを使用していない。
- 目的地が設定されていない。
- 目的地が遠すぎて自動経路探索機能が働かない。
- 目的地がディスクの自動経路探索機能のデータ範囲外にある。

地図ディスクの経路探索データについて

地図ディスクの経路探索データは、基本的には道幅5.5m以下の細い道路に対するデータは含まれていません（道幅5.5m以上であっても住宅地や商店街を通りぬける道路に対するデータは含まれていません）。
また、一方通行や右/左折禁止の規制やフェリー航路のデータは入っていますが、次のようなデータは含まれていない場合があります。
例：

- 最新の規制
- 道路工事による通行止めや進入禁止
- 慢性的な渋滞の情報
- 就航数の少ないフェリー航路

詳しくは地図ディスク製作会社にお問い合わせください。

ルートについて

ルートは、経路データがある道路上においてのみ探索されます。出発地/経由地/目的地がこの道路上にない場合は、その周辺にある経路データがある道路上の交差点や分岐点がそれぞれ出発地/経由地/目的地として探索されます。
例えば、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中で細い道路しかないような地域に目的地を設定すると、目的地のすぐ近辺まではルートが表示されない場合があります。同じように出発地においても、現在地のすぐ近くから参考ルートが始まらない場合もあります。
また、ルートは基本的に同一路線 (同じ番号を持つ国道や高速道路) を続けて走行できるように探索をするので、便利なバイパスや抜け道を表示しないことがあります。そのため、ルートが遠回りになる場合があります。
さらに、目的地を離島などに設定した場合、フェリー航路のデータが地図ディスクに含まれていないなどの理由により、ルートが見つからない場合があります。

ルートガイド中の便利な機能

矢印ガイド

「ルートガイドの設定」(57ページ) で矢印ガイドの設定をONにしておくと、ルートガイド中、次に向かうガイドポイント上に進行方向が矢印で表示されます。

リルート機能 (別売りの自律航法ユニット接続を推奨)

「ルートガイドの設定」(57ページ) でリルートの設定をONにしておくと、ルートガイド中、自車がルートから大きく外れたときに、ルートに戻る道を探索して表示できます。ただし、自車が自動ルート探索の対象でない道路を走行している場合はリルートされません。このときは、自動ルート探索の対象になる道路 (国道など) に出れば、元のルートに戻る道路を探索します。

ルートから極端に外れた場合は、「ルートへ戻る距離が遠いためリルートできません」というメッセージが表示され、リルートはされません。目的地までの新しいルートが知りたいときは、車を安全な場所に停車させて、ルート再探索を行ってください (詳しくは「ルートを探しなおす」24ページをご覧ください)。

交差点拡大機能 (別売りの自律航法ユニット接続を推奨)

「ルートガイドの設定」(57ページ) で交差点拡大の設定をONにしておくと、ガイドポイントが近づいたときに交差点の拡大図が表示されます。
交差点拡大図では、交差点への進入方向が上になるように、交差点の詳細図と進行方向が表示されます。(15ページをご覧ください。)
目印になる建物などのマークや交差点名が記録された地図ディスクを使うと、それらが交差点拡大図にも表示されます。

ジャンクションガイド機能
(別売りの自律航法ユニット接続を推奨)

ジャンクションガイドに対応した地図ディスクを使うと、高速道路の分岐点が近づいたときに分岐点の詳細図と進行方向が表示されます。(15ページをご覧ください。)
「ルートガイドの設定」(57ページ) で交差点拡大の設定をONにすることが必要です。
ジャンクションガイドされる高速道路は、地図ディスクによって異なります。本機に付属の地図ディスクでは、都市高速のみが対象です。

ルートガイド中のボタン操作

ルートガイド中に次の操作ボタンを押すと、設定地点やガイドポイントまでの走行距離など、さまざまな情報を確認することができます。

ボタン名	画面表示	音声ガイド
決定ボタン	緯度経度表示	現在地の地名
カーソルボタンで＋マークを移動後、決定ボタン	＋マーク位置の緯度経度表示	＋位置の地名
現在地ボタン	次のガイドポイントまでの走行距離 交差点拡大図*	次のガイドポイントまでの走行距離
現在地ボタン (2秒以上押す)	—	現在時刻
目的地ボタン	到着予想時刻	目的地までの走行距離

ご注意

地図の縮尺によっては、現在地の地名を音声ガイドできない場合があります。
付属の地図ディスクの場合は、〝詳細地図〟を除く50mおよび100mのスケールでご使用ください。

* 「ルートガイドの設定」(57ページ) の音声ガイド、リルート、交差点拡大の各項目を「ON」にしたときのみ表示されます。

到着予想時刻の表示

ルートガイド中に目的地ボタンを押すと、目的地への到着予想時刻を現在時刻から計算して地図画面上に表示します。到着予想時刻はあらかじめ設定しておいた高速道路や一般道路での平均速度と目的地までの距離で計算したものです。この平均速度の設定は「ルートガイドの設定」(57ページ) をご覧ください。

ご注意

- 別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続していない場合、および車速センサーコードなどの接続が正しく行われていないと交差点拡大表示や音声ガイド、リルートなどが正しく働きません。また、走行中の交差点名や道路名などは表示されません。
- 到着予想時刻は、おおよその時刻です。
- フェリーを用いた場合、その所要時間は計算されません。
- 設定した平均速度と大きく異なる速度で走行した場合は、正しい時刻が表示されません。

音声ガイド一覧

「ルートガイドの設定」(57ページ) で音声ガイドの設定をONにしておくと、ルートガイド中、次に向かうガイドポイント (経由地、交差点など) までの道のりなどをアラーム音 (🔈) と音声で知らせます。

ルートガイド開始時/終了時

例) 🔈+「ルートガイドを開始します」

ガイドポイントまでの距離と種類

ガイドポイントに近づくと、ガイドポイントまでの距離と種類を知らせます。

例) 🔈+「2キロメートル先、経由地1付近です」

ガイドポイントでの進行方向

ガイドポイントでの進行方向 (「直進です」「右方向です」「なななめ右方向です」「大きく右方向です」「左方向です」「ななめ左方向です」「大きく左方向です」) を案内します。

例) 🔈+「2キロメートル先、右方向です」

ガイドポイントの交差点名称

交差点名称のデータが収録されている地図ディスクをお使いになると、名称データのある交差点では音声で交差点名を案内します。

例) 🔈+「2キロメートル先、八丁堀交差点、右方向です」

高速道路の入口/出口

例) 🔈+「2キロメートル先、高速入口です」

フェリーターミナル

例) 🔈+「2キロメートル先、フェリーターミナルです」

ガイドポイント通過と、次のガイドポイントまでの距離のお知らせ

ルートに沿ってガイドポイントを通過すると、通過時の確認をアラーム音で知らせます。また、ガイドポイント通過後に、現在地ボタンを押すと次のガイドポイントまでの距離を画面表示と音声で知らせます。

例) 🔈+「3キロメートル先、右方向です」

経由地/目的地など設定地点への到着

例) 🔈+「目的地付近に到着しました」

ルートガイドの終了

「ルート設定」メニューの「ガイド」に▶を合わせて決定ボタンを押し、「ガイド終了」に▶を合わせて決定ボタンを押します。(詳しくは、28ページをご覧ください。)

地図ディスクについて

付属の地図ディスクをお使いになると、ルートガイドや、交差点拡大機能などを利用することができます。
本機はナビ研S規格専用機です。
地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
お使いになる地図ディスクによっては、「自動ルート探索機能」「ルートガイド機能」や「交差点拡大表示」「交差点名案内」「ジャンクションガイド」などの機能がご利用になれない場合があります。

ご注意

自動経路探索対応のナビ研S規格**地域別地図ディスク**をお使いになるとき、経路データが収録されている地図エリアの端付近で自動ルート探索を行うと、目的地までのルートが見つからない場合があります。
このような地域で自動ルート探索を行う場合、自動経路探索対応のナビ研S規格**全国版地図ディスク**をお使いください。

マップマッチングについて (別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続した場合)

マップマッチングは、マップマッチング用の道路データが収録された地図ディスクをお使いになっている場合のみ働きます。マップマッチングの動作確認は「自律航法ユニットの動作を確認する」(66ページ) をご覧ください。

ちょっと一言

本機のみでも音声ガイドやリルート機能、交差点拡大表示機能を使うことができますが、別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続すると、さらに正確な現在地の測位や交差点でのガイド、参考ルートへ戻る表示ができます。本機のみで使用する場合は、「ルートガイドの設定」(57ページ) の音声ガイド、リルート、交差点拡大の各項目を「ON」にしてください。

ディスク情報について

お使いになっている地図ディスクが対応している機能を知りたいときは、メニューの「ディスク情報」をご覧ください。詳しくは、「地図ディスクの種類などを見る」(41ページ) をご覧ください。

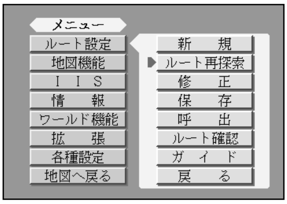
ルートを探しなおす（ルート再探索）

ドライブの途中でルートガイドを中止しても、経由地や目的地の設定を変更せず、設定した出発地や自車位置から改めてルートを探します。

1 メニューボタンを押す

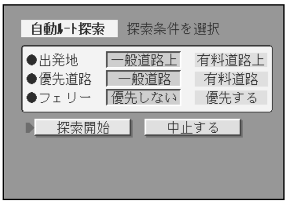
2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ルート再探索」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になり、▶が「探索開始」位置にあります。
探索条件を確認してください。



5 決定ボタンを押す

自動ルート探索が始まります。

ご注意

- ルートの再探索は、出発地が「自車位置」に設定してあるときに、自車位置から目的地までの新しいルートを探索します。出発地が「自車位置」以外に設定してあると、これまでのルートと同じルートしか表示されません。
このときは、右の「設定した地点を修正する」で出発地を「自車位置」に修正し、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。
- 「ルート再探索」は、設定されている地点、探索条件にもとづいて再計算を行います。ルートガイドの途中でルート再探索を行った場合、すでに通過してしまった経由地なども探索計算に含まれますのでご注意ください。このような場合は、右の「設定した地点を修正する」で通過してしまった地点を消去して、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。

ルートガイドを使いこなす

設定した地点を修正する

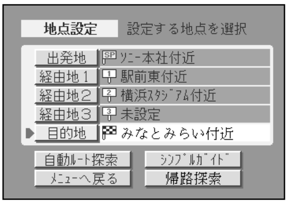
ルートを修正するには、ルートの基準になっている経由地などの各地点の設定内容を変更します。改めて自動ルート探索を行うと、ルートが変更されます。

1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「修正」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

修正地点を選択する画面になります。



4 修正したい地点を選択し、決定ボタンを押す

例えば「経由地1」を選択した場合、次のような画面になります。



5 「地図画面」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地点を消去したい場合は、「経由地1消去」を選びます。

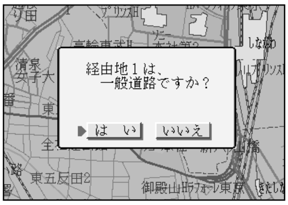
他の選択方法については「より早く目的地を探す」(30ページ) をご覧ください。

6 カーソルボタンで＋マークを設定したい地点に合わせて、決定ボタンを押す

＋マークが旗マークに変わり、地点が設定されます。そのあと、周辺のデータを確認し、設定した地点が有料道路と一般道路のどちらにも近い場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。

「周辺のデータを確認しています」

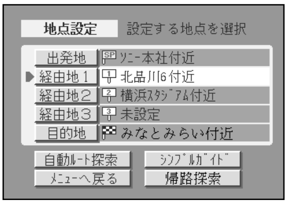
↓



↓

「はい」または「いいえ」に▶を合わせて決定ボタンを押します。

↓



一般道は黒文字、有料道路は赤文字で表示されます。

7 「自動ルート探索」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

「探索開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

修正した地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

ちょっと一言

1つの経由地を消去しても、他の経由地を設定し直す必要はありません。自動ルート探索は、消去した経由地を除いて消去前と同じ順序で行われます。

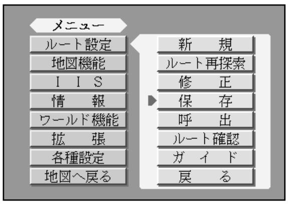
設定した地点を保存する

出発地、経由地、目的地の地点をまとめて保存できます。

1 メニューボタンを押す

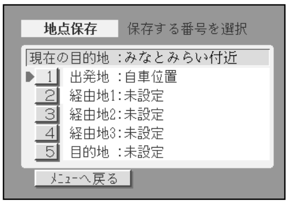
2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「保存」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す

保存番号を選択する画面になります。



5 保存番号 (1～5) を選び、決定ボタンを押す

ご注意

すでに地点が保存されている番号を選んで決定ボタンを押すと、新しく設定した地点に変更されます。
参考ルートの表示（黄色の破線）は保存されません。

保存した地点を呼び出す

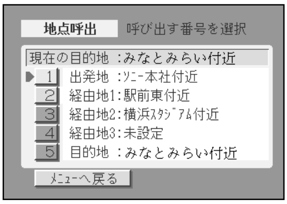
ルートを再び表示させるには、出発地、経由地、目的地のデータをまとめて呼び出し、改めて自動ルート探索を行います。

1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「呼出」に▶を合わせる

4 決定ボタンを押す



5 呼出番号 (1〜5) を選び、決定ボタンを押す

地点設定の画面になります。

6 「自動ルート探索」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

（呼び出されたルートには以前の探索条件は保存されていません。探索条件を確認してから探索を開始してください。）

「探索開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押してください。

呼び出された地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

ご注意

データ保存に使用した地図ディスクと異なるディスクを使ってルート探索を行うと、同じディスクで探索した場合より時間がかかることがあります。この場合、一度探索を行うと同じ所要時間になります。

ルートガイドを使いこなす

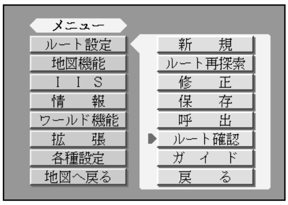
ルートをひと通り見てみる

自動ルート探索で地図画面にルートを表示させたあと、ルートに沿って自車マークを進めて画面上でルートを確認することができます。

1 メニューボタンを押す

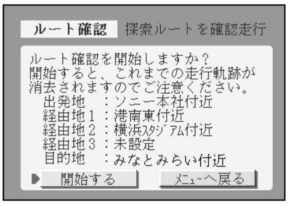
2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ルート確認」に▶を合わせる



4 決定ボタンを押す

ルート確認の画面になります。



中止するときは、「メニューへ戻る」を選んで決定ボタンを押してください。

5 「開始する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

ルート確認を始めます。

ルート確認を終了するには

再度メニューボタンを押し、「ルート設定」画面から「ルート確認」画面を選び、「終了する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

直線距離・方向だけの道案内をさせる

ルート探索を行わずに、ルート設定した各地点までの直線距離と方向を順番に表示して道案内をさせることができます。（シンプルガイド）

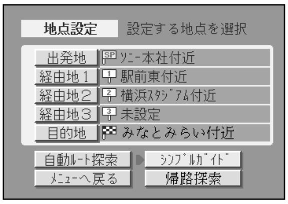
1 メニューボタンを押す

2 「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「新規」または「修正」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「新規」を選んだ場合は、目的地や経由地を設定してください。

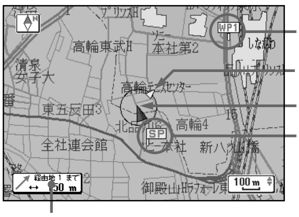
4 「シンプルガイド」に▶を合わせる



5 決定ボタンを押す

地図画面になり、シンプルガイドを始めます。

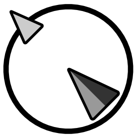
車の進行方向に合わせて、地図は自動的に回転します。



経由地までの直線距離
⟷は直線距離であることを表します。
通常のルートガイド中は道のりを表示します。

経由地1に着くと、次に設定された経由地2までのシンプルガイドを始め、順に目的地までの道案内をします。

シンプルガイド中は、自車マークが右のようになります。



行き先を変更するには
29ページをご覧ください。

シンプルガイドを中止するには
「ルートガイドを終了または再開する」（28ページ）をご覧ください。

シンプルガイド中の便利な機能

自車位置で決定ボタンを押すと
現在地の地名を知らせます。
「○○付近です」

目的地ボタンを押すと
目的地までの直線距離を知らせます。
「目的地付近まで、直線距離○○キロメートルです」

設定地点に向かうと
「経由地1付近まで、直線距離○○キロです」

設定地点が近づくと
🔈+「1キロメートル先、経由地1付近です」(高速走行時)
🔈+「300メートル先、経由地1付近です」(低速走行時)

目的地に着くと
「シンプルガイドを終了します」

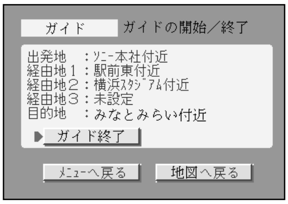
ご注意
シンプルガイド中は、交差点拡大機能や矢印ガイドなどの機能は働きません。

ルートガイドを終了または再開する

1 **ルートガイド中に、メニューボタンを押す**

2 **「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ガイド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



4 **「ガイド終了」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

ルートガイドが終了します。

ルートガイドを再開するときは、「ガイド開始」に▶を合わせて決定ボタンを押してください。

ちょっと一言

クイックボタンに「ガイドON／OFF」を登録すると、メニュー画面を開けずにクイックボタンを押しただけで、ルートガイドの開始／終了の操作ができます。
クイックボタンの登録については、「よく使う機能をクイックボタンに割り当てる」（61ページ）をご覧ください。

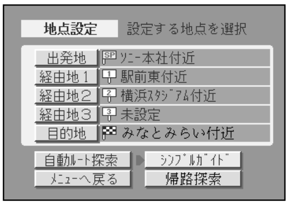
帰り道を案内させる（帰路探索）

目的地から出発地に帰るとき、往路で設定した地点のデータを逆にして帰り道のルート探索を行うことができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す**

3 **「修正」を選び、決定ボタンを押す**



4 **「帰路探索」を選び、決定ボタンを押す**

出発地と目的地、経由地1と経由地3のデータが入れ替わります。

5 **「自動ルート探索」を選び、決定ボタンを押す**

探索条件を設定する画面になります。

「探索開始」を選んで決定ボタンを押すと、

呼び出された地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

ご注意

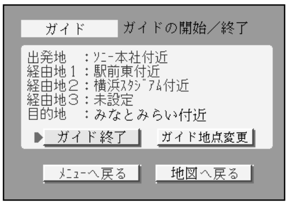
自車位置を「出発地」としたときは、前回ルート探索を開始したときの自車位置が「目的地」になります。

行き先を変更する
(シンプルガイド中のみ)

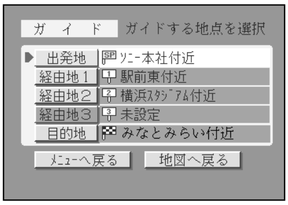
1 **メニューボタンを押す**

2 **「ルート設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ガイド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



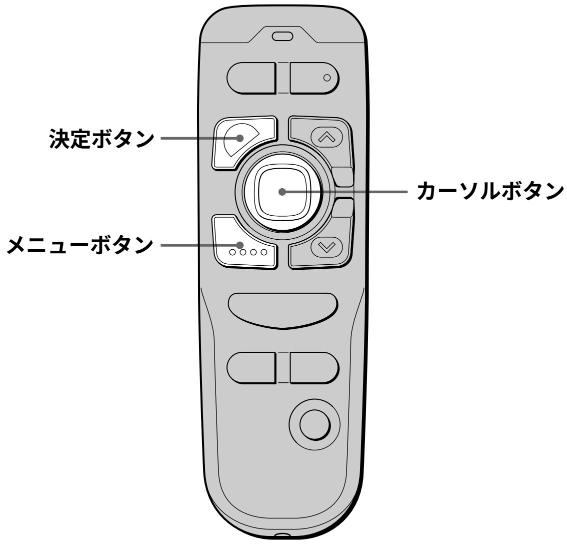
4 **「ガイド地点変更」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



5 **ガイドする地点に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

より早く目的地を探す

自宅の場所を地図に登録しておいたり、よく行く場所に目印のマークをつけておいたりすれば、その場所の地図を早く呼び出すことができます。
また、地図ディスクによっては、地名などを入力して、その場所の地図を表示することもできます。

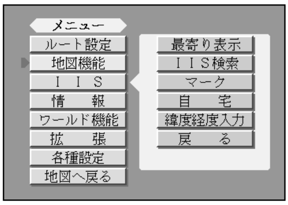


最寄りのコンビニエンスストアなどを表示する

ドライブ中に最寄りのコンビニエンスストアやレストランなどを探すとき、探したい項目を指定してリストアップし、地図上に表示することができます。
リスト表示されるのは、自車位置または地図画面上のカーソル位置付近にある指定項目です。

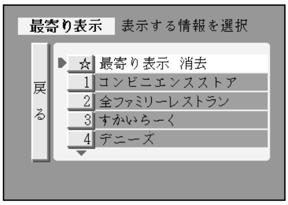
1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す



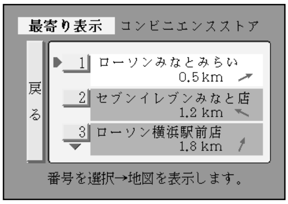
3 「最寄り表示」を選び、決定ボタンを押す

表示項目を選ぶ画面になります。



4 表示項目を選び、決定ボタンを押す

選択した項目のリスト（名称／方向／距離）が、近い順に表示されます。

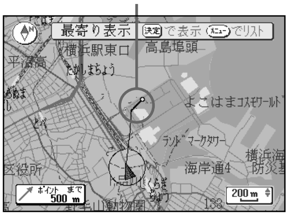


カーソル位置からリストを表示したときは、方向（矢印）は表示されません。

IIS 情報の項目を選択すると、名称は「IIS情報」になります。IIS情報を選ぶと、画面にIIS情報が表示されます。地図画面に戻るには、決定ボタンを押します。

5 地図を表示するには、番号を選んで決定ボタンを押す

最寄りポイントの表示



最寄りポイントの表示を消すときは

手順３で「最寄り表示消去」を選び、決定ボタンを押してください。

ご注意

選択できる項目は、お使いになる地図ディスクによって異なります。

地名などから場所を探す

「地図機能」画面から「IIS検索」を選択すると、地図ディスクのIIS (Integrated Information Services：ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラム) の検索メニュー画面を直接表示させることができます。

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「IIS検索」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

IIS機能の検索メニュー画面になります。

お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

IISを終了するには

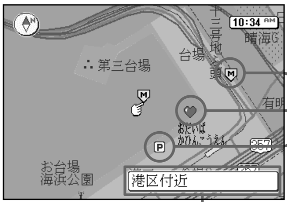
現在地ボタンを押します。

ご注意

ディスクによってはIISが検索機能に対応していないものがあります。その場合は、IISのオープニング画面が表示されます。

マークをつけておく

ドライブ中に見つけたレストラン、景色のよかった場所、友人の家など覚えておきたい場所を、地図にマークをつけて登録できます。(250か所までマークをつけることができます。)
マークをつけた場所は、地図ディスクを入れ換えた場合でもそのまま表示されます。
地図に付けたマークのある位置に+マークを合わせると、「☞マーク」に変わり、マークの名称が表示されます。マークの名前を変更した場合は、変更した名前が表示されます。



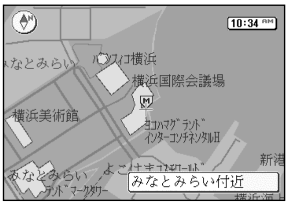
マーク

マークをつけた場所付近の地名や建物の名前、または緯度/経度

1 **マークをつける場所を探し、+マークを合わせる**

2 **マークボタンを押す**

+マークの中心にⓂマークがつきます。



マークをつけた地点はマークリストに自動的に登録されます。

ドライブ中に気に入った場所や店があったら
マークボタンを押すと、自車マークの位置にマークをつけることができます。

マークを消す

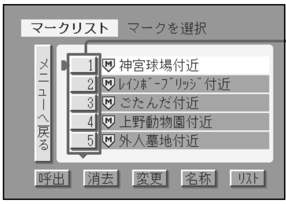
地図画面から「マークリスト」画面にするには
消去したいマークのある位置に+マークを合わせ、☞マークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順4から操作できます。)

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「マーク」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

「マークリスト」画面になります。



マーク番号

4 **消去したいマーク番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

誤ったマーク番号を選んだときは
「リスト」に▶を合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 **「消去」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

マークがリストから消去されます。

6 **「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

マークの種類を変更する

登録した場所のマークを目的別にいろいろなシンボルにして、オリジナルの地図を作ることができます。

地図画面から「マークリスト」画面にするには

変更したいマークのある位置に＋マークを合わせ、☞マークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順5から操作できます。)

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「マーク」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



マーク番号

4 **変更したいマーク番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

誤ったマーク番号を選んだときは

「リスト」に▶を合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 **「変更」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

シンボルリストが表示されます。



6 **変更するシンボルに▶を合わせて、決定ボタンを押す**

マークが新しいシンボルに変わります。

7 **「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

マークをつけた位置を呼び出す

登録してあるマークから、そのマークをつけた場所の地図を見ることができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「マーク」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



マーク番号

4 **表示したいマーク番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

誤ったマーク番号を選んだときは

「リスト」に▶を合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 **「呼出」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

選んだマーク位置の地図が表示されます。

ルート設定時は

設定方法を選択する画面で「マーク呼出」を選び、同様に操作します。

マークの名前を変更する

マークリストや地図に表示される名前を変更することができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「マーク」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



マーク番号

4 **名前を変更したいマーク番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

誤ったマーク番号を選んだときは
「リスト」に▶を合わせて決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

5 **「名称」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

カナ入力画面が表示されます。



6 **カーソルボタンで新しく名前につける文字を1文字ずつ選択して、決定ボタンを押す**

20文字まで入力することができます。

英数字や記号を入力するときは
「英数」を選択し、決定ボタンを押します。カナ入力画面に戻るには、「カナ」を選択して決定ボタンを押します。

間違った文字を入力したときは
「削除」を選択し、決定ボタンを押します。決定ボタンを押すたびに、直前に入力した文字から1文字ずつ削除されます。

入力したすべての文字を削除するには
「全削」を選択し、決定ボタンを押します。

7 **「変更する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

マークに新しい名前がつき、マークリスト画面に戻ります。

変更を中止するには、「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押します。

ご注意
マークの種類や名前を変更したときは、必ず地図画面に戻ってから電源を切ってください。マークリスト画面のままで電源を切ると変更した内容が登録されません。

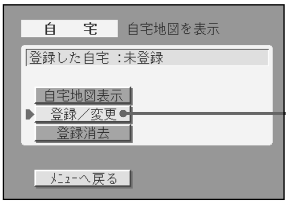
自宅を地図に登録しておく

自宅を登録しておくと、出発地や目的地の設定が簡単にできます。例えば目的地選択画面で「自宅呼出」を選ぶと、自宅に帰るルートを探すことができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



4 **「登録/変更」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

地図画面になります。

5 **カーソルボタンで＋マークを自宅に合わせ、決定ボタンを押す**

＋マークが自宅マークに変わり、自宅が設定されます。そのあと、自宅が新たに設定された「自宅」画面に戻ります。



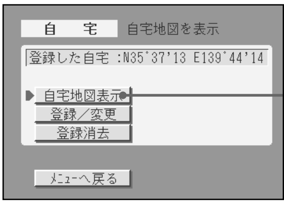
6 **「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

自宅地図を表示する

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



4 **「自宅地図表示」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

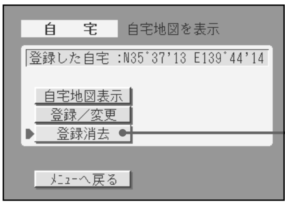
自宅付近の地図画面になります。

登録した自宅を消す

1 **メニューボタンを押す**

2 **「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



4 **「登録消去」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

登録した自宅が未設定に戻ります。

登録した自宅を変更する

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「自宅」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



4 「登録/変更」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面になります。

5 カーソルボタンで＋マークを自宅に合わせ、決定ボタンを押す

＋マークが自宅マークに変わり、自宅が新たに設定されます。そのあと、自宅が変更された「自宅」画面に戻ります。

6 「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

より早く目的地を探す

緯度経度から場所を探す

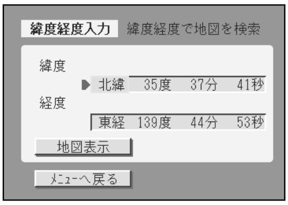
緯度経度を入力すると、その位置を中心とした地図を表示することができます。
例えば、本機を取り付けている何台かの車でドライブするときに、目的地などの緯度/経度を教え合うことにより、お互い共通の場所に目的地を設定することができます。

1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「緯度経度入力」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

「緯度経度入力」画面になります。



4 「緯度」または「経度」の設定したい項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

数値が入力できる状態になります。

5 カーソルボタンを上下に押して数値を設定し、決定ボタンを押す

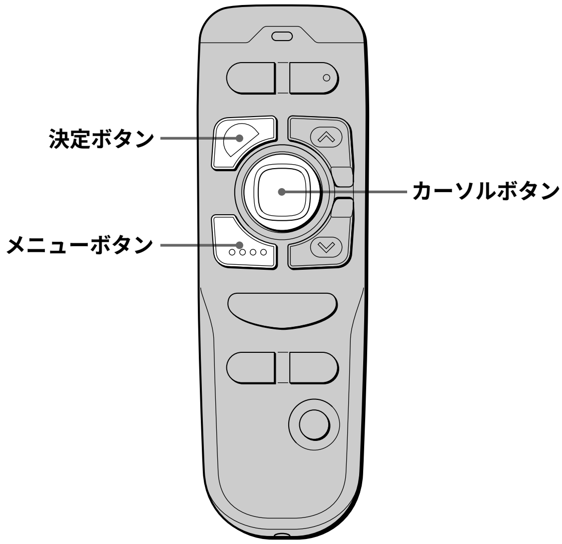
6 「地図表示」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

入力した場所の地図が表示されます。

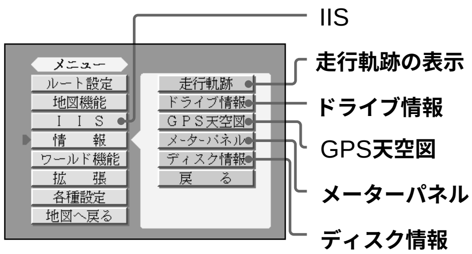
ルート設定時は
設定方法を選択する画面で「緯度経度入力」を選び、同様に操作します。

いろいろな情報を見る

メニューボタンを押して「情報」メニューを選ぶと、ドライブ中に近くの施設の情報を見たり、現在地の詳しいデータを知ることができます。



ドライブ中にいろいろな情報を見る操作は、「IIS」と「情報」メニューにまとめられています。



地図ディスクに収録されている情報 (IIS)

IIS (Integrated Information Services) **とは**
ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラムのことです。これから向かう場所の情報や、地図ディスクに入っている情報提供のプログラムを見ることができます。
詳しくは「用語集」(90ページ) をご覧ください。

1 メニューボタンを押す

メインメニュー画面になります。

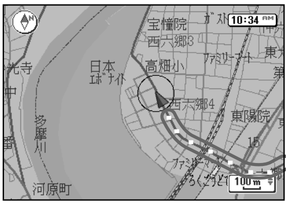
2 「IIS」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

3 IISを終了するには、現在地ボタンを押す

走行軌跡を表示する

走行軌跡とは、自車がそれまでに走ってきた道につく点のことです。



走行軌跡

走行軌跡を消す

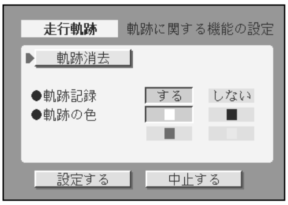
画面上に表示されている軌跡をすべて消去できます。また、走行軌跡の記録をしないで、画面上に軌跡を表示しない設定も可能です。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「走行軌跡」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

「走行軌跡」画面になります。



4 **• 画面上の走行軌跡を消すとき**

「軌跡消去」を選び、決定ボタンを押す

• 走行軌跡を表示しないとき

軌跡記録の「しない」を選び、決定ボタンを押す

5 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

ちょっと一言

走行軌跡の表示は1000ポイントまで記録されます。1000ポイントを越えると1ポイント目の軌跡から順に消えていきます。また、地図の縮尺に合わせて見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では軌跡の数は少なくなります。

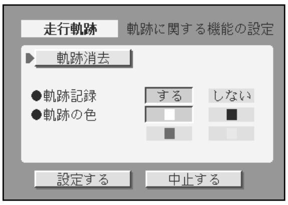
走行軌跡の色を変える

1 **メニューボタンを押す**

2 **「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「走行軌跡」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

「走行軌跡」画面になります。



4 **軌跡の色 (白、黒、赤、黄) のいずれかに▶を合わせて、決定ボタンを押す**

5 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

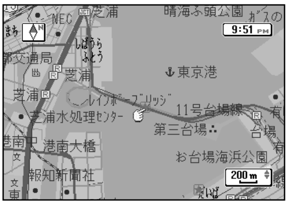
地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

ドライブ情報 (施設や観光情報など) を表示する

ドライブ中に周辺の施設などの情報を知りたいときは、以下の操作を行ってください。地図上でドライブ情報のシンボルが表示されているときは、そのシンボルが示す情報を見ることができます。

1 シンボルに＋マークを合わせる

表示する情報を選ぶ画面になります。



ドライブ情報がある場所には、シンボルが表示されています。

2 ☞のマークに変わったら、決定ボタンを押す

ドライブ情報、またはIIS (情報提供プログラム) の画面になります。

地図画面に戻るには

現在地ボタンを押します。

ドライブ情報の文章が途中までしか表示されていないとき

カーソルボタンを上下に押すと、情報の続きを見ることができます。

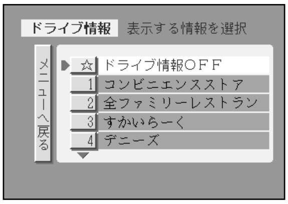
地図画面に表示するドライブ情報を設定するには

1 メニューボタンを押す

2 「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ドライブ情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

表示する情報を選ぶ画面になります。



「メニューへ戻る」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、メニューに戻ります。

4 表示したい情報に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

表示しない場合は、「ドライブ情報OFF」に▶を合わせて、決定ボタンを押してください。

ご注意

- 地図ディスクによっては、ドライブ情報が収録されていないものもあります。
- シンボル表示やその内容は、地図ディスクによって異なります。
- ドライブ情報がない縮尺の地図もあります。お使いになる地図ディスクによって異なりますが、通常は詳細な地図にドライブ情報が収録されています。
- ドライブ情報がない地域もあります。

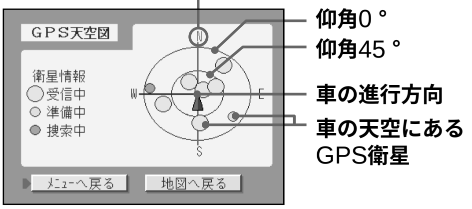
GPS衛星の受信状態を見る

ドライブ中に現在地が表示されないときや自車マークが黒色のときなどに、以下の操作でGPS衛星の受信状態を確認してください。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「GPS天空図」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



GPS衛星は次の3段階で表示されます。

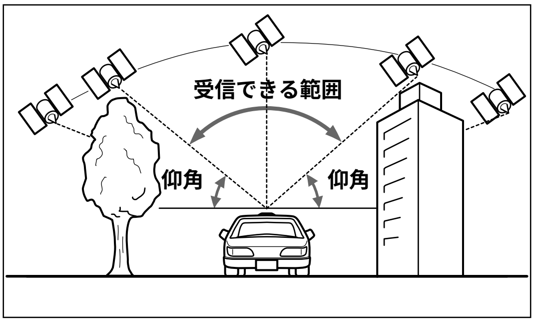
受信中： 現在、電波を受信中のGPS衛星
準備中： 測位を計算するための準備段階にあるGPS衛星
捜索中： 障害物などで 電波を受信できないGPS衛星

自車マークから離れて表示されているGPS衛星ほど、障害物の影響を受けやすくなります。

4 **「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

GPS衛星が地平線近くに位置しているとき

GPS衛星は周回衛星なので、本機のGPSアンテナから見て水平に近い角度 (低仰角) に位置することがあります。このようなときは特に障害物の影響を受けやすく、電波を正常に受信できなくなります。

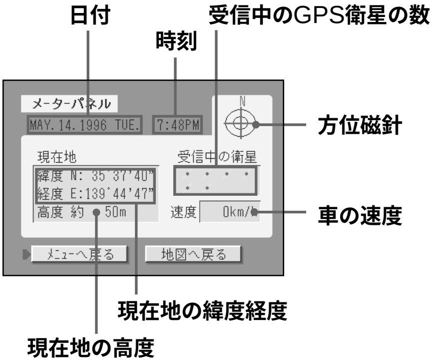


車の速度などの情報を見る

1 **メニューボタンを押す**

2 **「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

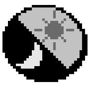
3 **「メーターパネル」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



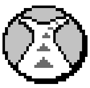
4 **「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

ご注意

現在地の高度はおおよその値です。



画面カラー自動切り換え対応：
画面カラー自動切り換え機能に対応したディスクです。詳しくは「システムの設定」（64ページ）をご覧ください。



ジャンクションガイド対応：
ジャンクションガイド機能に対応したディスクです。詳しくは「道案内の流れ」（15ページ）をご覧ください。

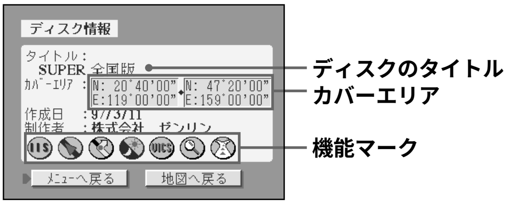
地図ディスクの種類などを見る

お使いになっている地図ディスクのカバーエリア(収録されている地図の範囲) やディスクのタイトルなどを見ることができます。

1 **メニューボタンを押す**

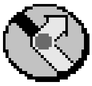
2 **「情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ディスク情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



4 **「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

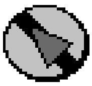
ディスクの機能マークについて



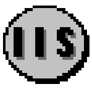
自動経路探索対応：
自動ルート探索が可能です。



〝詳細地図〟対応：
〝詳細地図〟対応の市販のナビ研S規格の地図ディスクを使用時に表示されます。詳しくは「使用できるディスクについて」(75ページ) をご覧ください。



マップマッチング対応：
別売りの自律航法ユニットXA-150Sを接続したときにマップマッチング機能が働きます。詳しくは「マップマッチングについて」(23ページ)および「用語集」(90ページ) をご覧ください。



IIS情報対応：
IIS情報（37ページ）が収録されています。



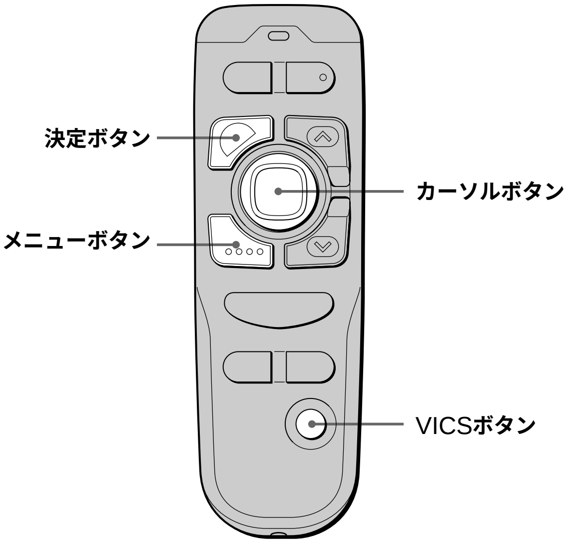
VICS対応：
VICSのレベル3の情報が表示できます。

VICS情報を見る

VICSボタンを押すと、VICSセンターがNHKのFM多重放送の設備を使って提供する交通情報を見ることができます。VICS情報は、次の場合に見ることができます。

- カーステーションに接続しているとき
- 付属のアンテナユニットまたは別売りのNVA-VF1を接続しているとき

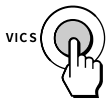
NVA-VB1は、付属のアンテナには接続できません。

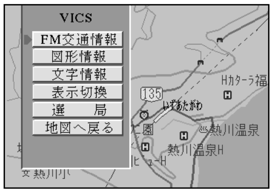


FM交通情報を見る

まず、受信可能なVICS局を選局します。

1 VICSボタンを押す





VICSボタンを2秒以上押すと、最後に見ていたFM交通情報または図形情報の画面になります。

2 サブメニューの「FM交通情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

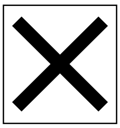
FM交通情報の目次画面になります。

3 表示したい番組番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す

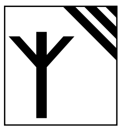


1 受信状態表示
現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。

受信不能



多重放送受信中



[2] 番組番号ボタン
画面上に表示されている番組目次の番号に対応しています。
表示したい番号に▶を合わせて決定ボタンを押します。

[3] ヘッダー情報表示

[4] 自動ページ送りマーク
「初期設定」(58ページ) の「自動ページ送り」が「速い」または「遅い」設定のとき表示されます。ただし、走行中は自動ページ送りはできません。

[5] 表示エリア
通常は15.5文字×2行です。

[6] 戻るボタン
拡張メニュー、VICSメニューまたは1ステップ前の画面に戻ります。

[7] ▲前ページ／▼次ページ送りボタン
前後のページを表示します。

[8] 番組ジャンプボタン
目次画面に戻らず、前後の番組にジャンプします。

表示を8行にするには (停車時のみ)

「初期設定」(58ページ) で8行表示機能をONに設定します。

前後の番組を表示するには

番組ジャンプボタン ([8]) に▶を合わせて決定ボタンを押す。

前後のページを表示するには

▲前ページ／▼次ページ送りボタン ([7]) に▶を合わせて決定ボタンを押す。(またはリモコンの広域/詳細ボタンを押す。)

番組目次画面 (1ステップ前) に戻るには

「戻る」ボタン ([6]) に▶を合わせて決定ボタンを押す。

VICSメニュー画面に戻るには

番組目次画面に戻って「戻る」ボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには

リモコンの「現在地」ボタンを押す。

ご注意

- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できていても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。
- 各ボタンがグレー色の場合、そのボタンは動作しない状態になっていることを示しています。

図形情報を見る

VICS情報の図形情報を表示するには、メニュー操作で図形情報画面を表示し、表示したい番組を選択します。
画面内のボタンの操作については「FM交通情報を見る」(42ページ) をご覧ください。

1 VICSボタンを押す



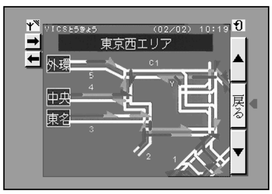
2 サブメニューの「図形情報」に▶を合わせて決定ボタンを押す

図形番組目次画面になります。



7番以降の番組を表示するには
[↓]ボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。(上位番号表示に戻るには[↑]ボタン)

3 表示したい番組番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す



前後の番組を表示するには
番組ジャンプボタン ([←]または[→]) に▶を合わせて決定ボタンを押す。

前後のページを表示するには
▲前ページ／▼次ページ送りボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。(またはリモコンの「広域／詳細」ボタンを押す。)

番組目次画面 (1ステップ前) に戻るには
「戻る」ボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。

VICSメニュー画面に戻るには
番組目次画面に戻って「戻る」ボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには
リモコンの「現在地」ボタンを押す。

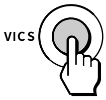
拡張メニューからの操作
図形情報を見る操作は、車を停車中にパーキングブレーキを引いた状態で、拡張メニューから、「VICS」に▶を合わせて選択する操作からも行うことができます。

文字情報を見る

VICSセンターから提供されるさまざまな情報を見るには、次のように操作します。
文字情報には、「区間旅行時間」、「駐車場情報」、「SA/PA (サービスエリア／パーキングエリア) 情報」、などがあります。

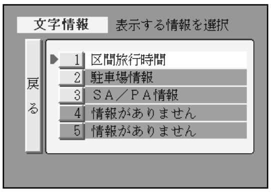
ご注意
文字情報の内容は、受信する地域によって異なることがあります。

1 **VICSボタンを押す**

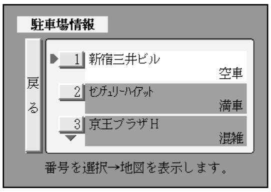


2 **サブメニューの「文字情報」に▶を合わせて決定ボタンを押す**

「文字情報」リスト画面になります。



3 **表示したい項目番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



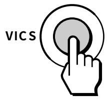
メニュー画面に戻るには
「戻る」ボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには
「現在地」ボタンを押す。

情報を選択する

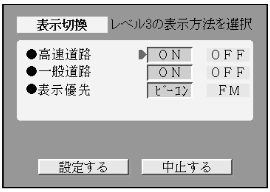
カーナビゲーションシステムの地図画面上にVICS地図情報 (レベル3) を表示するとき、それらの表示を道路の種類別にON/OFFすることができます。

1 **VICSボタンを押す**



2 **サブメニューの「表示切換」に▶を合わせて決定ボタンを押す**

「表示切換」画面になります。



高速道路上の情報を表示するには
高速道路「ON」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

一般道路上の情報を表示するには
一般道路「ON」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

VICS情報表示の優先を切り換えるには
FM放送からの情報を優先したいときは「FM」を、ビーコンからの情報を優先したいときは「ビーコン」に▶を合わせて決定ボタンを押す。(別売りのNVA-VF1、NVA-VB1接続時)
付属のアンテナ使用時は、常にFM放送からの情報が優先されます。

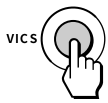
地図画面に戻るには
リモコンの「現在地」ボタンを押す。

ご注意
- 地図の縮尺によっては、表示されないことがあります。
- VICSのレベル3に対応したナビ研S規格以外の地図ディスクでは、レベル3の情報は表示することができません。

VICS局を選局する

FM多重放送からVICS情報を受信する場合の放送局の選局は、プリセットリストの番号から選択する場合と、プリセットリストにない放送局を自動または手動で受信する場合があります。

1 VICSボタンを押す



2 サブメニューの「選局」に▶を合わせて決定ボタンを押す

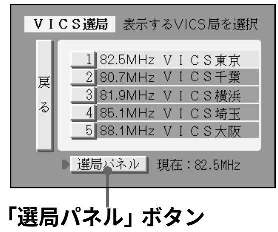
「選局」画面 (プリセットリスト) になります。



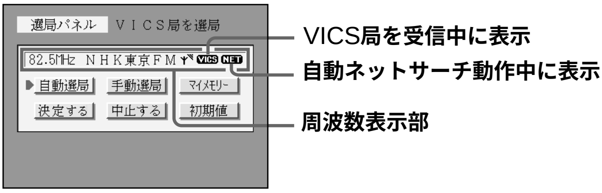
3 選局したいプリセット番号に▶を合わせて決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

リストにない放送局を選局する



「選局」画面で「選局パネル」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、次のような「選局パネル」画面が表示されます。



ご注意

安全のため、「選局パネル」画面を走行中に表示することはできません。停車中にパーキングブレーキを引いて操作してください。

自動選局するには

「自動選局」に▶を合わせて決定ボタンを押す。
周波数の高い方向へ自動的にVICS局を探し始め、受信すると周波数を表示します。

自動選局中に選局を中止するには

リモコンの決定ボタンを押します。

手動選局するには

「手動選局」に▶を合わせて決定ボタンを押す。
周波数表示が手動で変化する状態になります。
見たい放送局の周波数表示になるまでカーソルボタンの上下部分を押して、決定ボタンを押します。
「決定する」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、周波数を設定して地図画面に戻ります。

選局操作を中止するには

「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

ご注意

選局パネルの中の周波数表示部に表示されるVICS名は、VICS局が送信した局名を表示します。そのため、同じVICS局でも本機で初期設定として表示されている放送局名と異なる場合があります。

受信局をプリセットリストに登録する



「マイメモリー」ボタン

「選局パネル」画面で放送局を受信したあと「マイメモリー」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、次のような「リスト番号選択」画面が表示されます。



受信した放送局を保存するには

カーソルボタンの上下部分を押して保存先のリスト番号を指定し、決定ボタンを押す。
確認メッセージが表示され、プリセットリストに保存されます。

ご注意

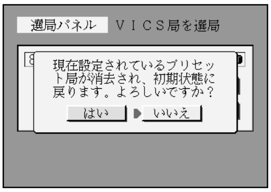
プリセットリストに登録した後、電源を切るときは地図画面に戻してから電源を切ってください。プリセットリストのまま電源を切ると、登録した内容が保存されないことがあります。

プリセットリストを初期値に戻す



「初期値」ボタン

「選局パネル」画面で「初期値」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、次のような確認画面が表示されます。



初期値に戻すには

「はい」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

中止する場合には

「いいえ」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

FM文字多重放送を見る

この操作は安全のため、車が停止している状態でないと、操作ができません。詳しくは「走行中の操作について」(53ページ) をご覧ください。

FM文字多重放送とは

FM文字多重放送は、通常のラジオ電波のすき間を利用し、様々な文字情報を「見えるラジオ」や「アラジン」などで見ることができるシステムです。
VICS情報もFM多重放送を使って発信されますが、「FM文字多重」を選択して見ることのできる交通情報はVICSセンターからの情報とは異なります。

ご注意

VICSの周波数と異なる場合、情報が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

パワーアンテナコントロール機能について

パーキングエリアに入るときなどにアンテナを収納する場合は、本機の電源をOFFにしてください。
本機の電源のON/OFFに連動して、車のパワーアンテナをUP/DOWNすることができます。

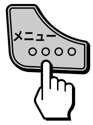
ご注意

- 本機の電源をOFFにして、アンテナを下げて駐車場などに入ったとき、自車位置がずれることがあります。
- 本機をカーステーションに接続した場合、アンテナが数秒上がることがあります。

番組を見る

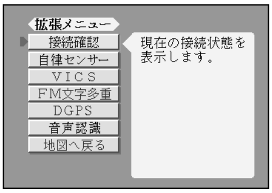
カーステーションに接続しているときは、FM放送の音声を聞くことはできません。FM放送の音声を聞くときは、71ページをご覧ください。

1 メニューボタンを押す



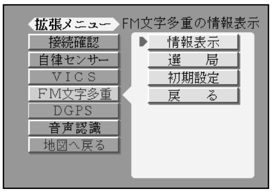
2 「拡張」に▶を合わせて決定ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。



3 「FM文字多重」に▶を合わせて決定ボタンを押す

「FM文字多重」画面を表示させるまでの操作を、クイックボタンに登録しておくと簡単に画面を呼び出すことができます。



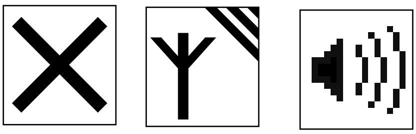
4 サブメニューの「情報表示」に▶を合わせて決定ボタンを押す

総目次画面になります。



1 受信状態表示
現在選択している周波数のFM放送の受信状態を表示します。

受信不能　多重放送受信中　多重局以外のFM放送受信中



2 番組番号ボタン
表示したい番号に▶を合わせて決定ボタンを押します。

3 ヘッダー情報表示

4 自動ページ送りマーク
「初期設定」(59ページ) の「自動ページ送り」が「速い」または「遅い」設定のとき表示されます。(走行中は自動ページ送りはされません。)

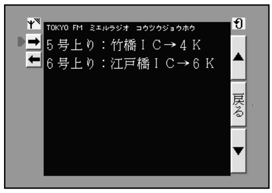
5 表示エリア
通常は15.5文字×2行です。

6 戻るボタン
拡張メニューまたは1つ前の画面に戻ります。

7 ▲前ページ／▼次ページ送りボタン
前後のページを表示します。

8 番組ジャンプボタン
目次画面に戻らず前後の番組にジャンプします。

5 表示したい番組番号に▶を合わせて、決定ボタンを押す



表示を8行にするには (停車時のみ)
「初期設定」(59ページ) で8行表示機能をONに設定します。

前後の番組を表示するには
番組ジャンプボタン (8) に▶を合わせて決定ボタンを押す。

前後のページを表示するには
▲前ページ／▼次ページ送りボタン (7) に▶を合わせて決定ボタンを押す。(またはリモコンの広域/詳細ボタンを押す。)

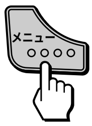
総目次画面 (1ステップ前) に戻るには
「戻る」ボタン (6) に▶を合わせて決定ボタンを押す。

拡張メニュー画面に戻るには
総目次画面に戻って「戻る」ボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。
地図画面に戻るには
リモコンの「現在地」ボタンを押す。

放送局を選局する

放送局の選局は、プリセットリストの番号から選択する方法と、プリセットリストにない放送局を自動または手動で受信する方法があります。

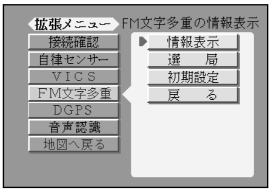
1 メニューボタンを押す



2 「拡張」に▶を合わせて決定ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。

3 「FM文字多重」に▶を合わせて決定ボタンを押す



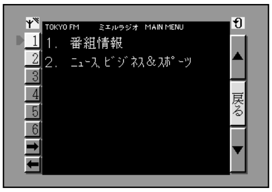
4 サブメニューの「選局」に▶を合わせて決定ボタンを押す

「選局」画面 (プリセットリスト) になります。



5 選局したいプリセット番号に▶を合わせて決定ボタンを押す

選択された放送局の「総目次」画面になります。



メニュー画面に戻るには

「戻る」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには

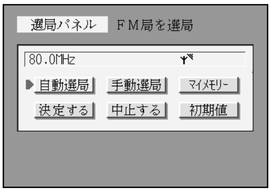
「現在地」ボタンを押す。

自動で選局する

プリセットリストにない放送局を自動的に受信します。

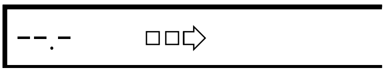
1 **「選局」画面で「選局パネル」に▶を合わせて決定ボタンを押す**

「選局パネル」画面になります。



2 **「自動選局」に▶を合わせて決定ボタンを押す**

周波数の高い方向へ自動的にFM局を探し始め、受信すると周波数を表示します。受信したいFM局が受信できるまで、操作を繰り返します。



選局中は、周波数表示が「--.-」になります。



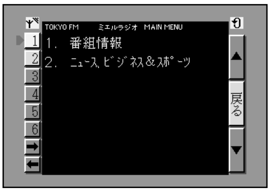
受信すると、FM局の周波数を表示します。

自動選局中に選局を中止するには

リモコンの決定ボタンを押す。

3 **「決定する」に▶を合わせて決定ボタンを押す**

「総目次」画面になります。



ご注意

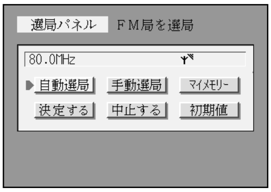
- 電波の状態により、受信するまでに多少の時間がかかることがあります。
- 通常のFM放送が受信できていても、受信状況によっては、文字データは受信できないことがあります。

見たい放送局の周波数がわかっているとき（手動選局）

見たい放送局の周波数を指定して受信します。

1 「選局」画面で「選局パネル」に▶を合わせて決定ボタンを押す

「選局パネル」画面になります。



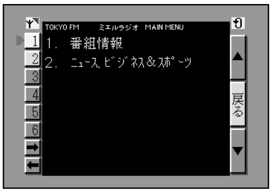
2 「手動選局」に▶を合わせて決定ボタンを押す

周波数表示が手動で変化する状態になります。

3 見たい放送局の周波数表示になるまでカーソルボタンの上下部分を押して、決定ボタンを押す

4 「決定する」に▶を合わせて決定ボタンを押す

「総目次」画面になります。



ご注意

電波の状態により、文字情報のデータを受信してから「総目次」を表示するまでに多少の時間がかかることがあります。

受信局をプリセットリストに登録する



「マイメモリー」ボタン

「選局パネル」画面で放送局を受信したあと「マイメモリー」に▶を合わせて決定ボタンを押すと、次のような「リスト番号選択」画面が表示されます。



受信した放送局を保存するには

カーソルボタンの上下部分を押して保存先のリスト番号に▶を合わせて決定ボタンを押す。
確認メッセージが表示され、プリセットリストに保存されます。

ご注意

- 選局パネルの中の周波数表示部に表示されるVICS名は、VICS局が送信した局名を表示します。そのため、同じVICS局でも本機で初期設定として表示されている放送局名と異なる場合があります。
- プリセットリストに登録した後、電源を切るときは地図画面に戻してから電源を切ってください。プリセットリストのまま電源を切ると、登録した内容が保存されないことがあります。

走行中の操作について

安全のため、車が停車している状態でなければ拡張メニューなどの複雑な操作はできません。
走行中と停車時では、FM文字多重機能の操作が異なります。また、安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。

「FM文字多重」をクイックボタンに割り当てる

拡張メニューから「FM文字多重の情報表示」を選ぶまでの操作をリモコンのクイックボタンに登録することで、FM文字多重画面をすぐに呼び出すことができます。
詳しい登録の操作は、「よく使う機能をクイックボタンに割り当てる」（61ページ）をご覧ください。

音声ガイドについて

FM文字多重放送の番組画面を表示しながら、ナビシステムでルートガイドを行うことができます。ルートガイド中に番組画面を表示しているときは、音声でガイドポイントまでの距離や進行方向などを案内します。交差点拡大図を確認したいときは、現在地ボタンを押すと地図画面に切り換わります。音声ガイドのON/OFFについては、「ルートガイドの設定」（57ページ）をご覧ください。

ご注意

番組画面を表示しながら、ルートガイドを行っている場合、リルート機能は働きません。

緊急情報について

災害時などにFM文字多重放送局が送信する緊急情報を、本機が受信したとき、画面に緊急情報を優先的に表示します。

番組を見ているとき

受信を知らせる警告音が鳴り、画面に緊急情報を表示します。

ご注意

- 車のアンテナが収納された状態では、「緊急情報」の受信はできません。緊急情報を受信するときは、必ずアンテナを伸ばしてください。
- 受信した内容を見るときは、実際の交通規則に従い、車を安全な場所に停車してください。
- 受信状況により、送信された緊急情報をすべて受信できるとは限りません。

緊急情報について

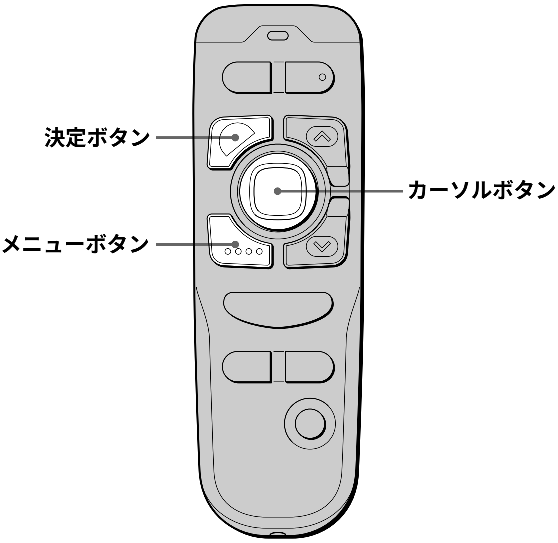
災害に関する緊急情報は、本来、法令に基づき、国または地方自治体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急情報です。
本機は、緊急警報を受信できるようにしたものですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。
従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご利用ください。

ワールド機能を使う

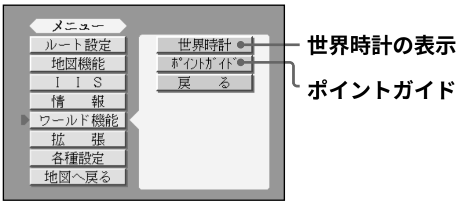
ワールド機能では世界各地の時刻や、地図ディスクのない地域で現在地から目的地までの方向と距離、緯度経度などを表示することができます。

ワールド機能は、地図ディスクを入れなくても操作できます。

海外でお使いになるときのご注意
お使いになる国によっては、車室内にモニターを取り付けたり、テレビなどを見ることを法律で禁止している国がありますので、ご注意ください。



世界時計とポイントガイドの設定は、「ワールド機能」メニューにまとめられています。



世界時計を見る

世界各地の現在時刻を見ることができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「ワールド機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「世界時計」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

世界地図画面になります。



4 **カーソルボタンを左右に押して、時刻を表示させたい地域を選ぶ**



選択した地域の時刻を表示します。

5 **「メニューへ戻る」または「地図に戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

ポイントガイド

都市名を選んだり緯度経度を入力して、現在地からの方向と距離などを表示させることができます。

都市名を選んでガイドする

1 **メニューボタンを押す**

2 **「ワールド機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ポイントガイド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

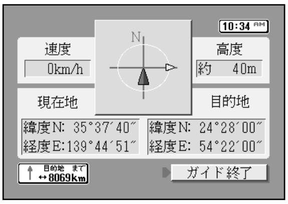
4 **「都市名」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



5 **ガイドしたい都市名に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

誤った都市名を選んだときは
手順**4**からやり直します。

6 **「ガイド開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



目的地までの距離と方向などを表示します。

ポイントガイドを終了するには
決定ボタンを押します。

緯度経度を入力してガイドする

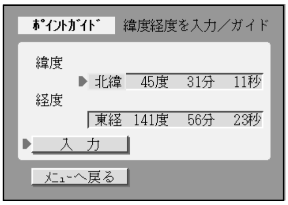
1 **メニューボタンを押す**

2 **「ワールド機能」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ポイントガイド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

4 **「緯度経度」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

「緯度経度入力」画面になります。



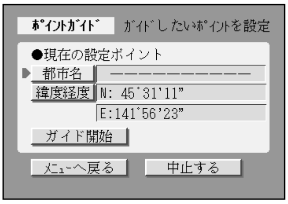
5 **「緯度」または「経度」の入力したい項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

数値が入力できる画面になります。

6 **カーソルボタンを上下に押して数値を設定し、決定ボタンを押す**

次のページへつづく

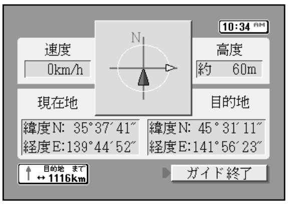
7 「入力」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



緯度経度を設定したときは、都市名は表示されません。

8 「ガイド開始」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

ポイントガイド画面になります。



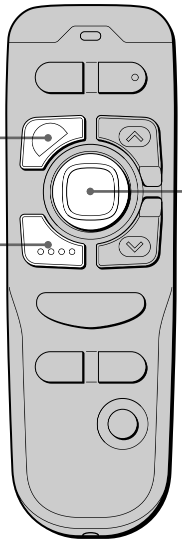
目的地までの距離と方向などを表示します。

ポイントガイドを終了するには
決定ボタンを押します。

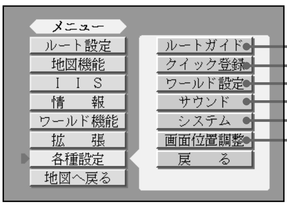
ご注意
高緯度の地域でお使いになると、目的地までの距離が正確に表示されないことがあります。

設定と調整

メニューボタンを押して「各種設定」メニューを選ぶと、本機の表示や音声などの内容をお買い上げ時の設定から変更することができます。



本機の各機能のON/OFFや設定操作は、「各種設定」メニューにまとめられています。



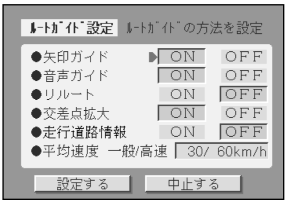
ルートガイドの設定

ルートガイド時の働きを設定します。
音声ガイドやリルート機能、交差点拡大表示機能を使うためには、別売りの自律航法ユニットを接続してください。本機のみでも使うことができますが、衛星電波の受信状態などによっては正しく働かないことがあります。

1 メニューボタンを押す

2 「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

3 「ルートガイド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す



矢印ガイド：ガイドポイント (交差点) での進行方向を示す矢印のON/OFF

音声ガイド：音声ガイドのON/OFF

リルート：ルートを外れたときにルートに戻るガイドを行う機能のON/OFF

交差点拡大：交差点にさしかかったときの交差点拡大画面を表示する機能およびジャンクションガイド機能のON/OFF

走行道路情報：直前の交差点などの情報を表示する機能のON/OFF (別売りの自律航法ユニット接続時のみ)

平均速度：目的地到着の時刻を自動的に計算するための設定。「一般」または「高速」を選択し、カーソルボタンで「5」km/h単位で変更することができます。ルートガイド中に目的地ボタンを押すと、画面上に表示します。

4 必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

5 「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

VICSの設定

内蔵のVICSユニットの初期設定をする画面です。次のような項目を設定します。

- **表示情報設定**
  地図画面上に表示するVICSレベル3情報の内容を設定します。「渋滞なし」「不明」「渋滞方向」「点滅表示」「駐車場」「SA/PA (サービスエリア/パーキングエリア)」「事故/規制」の各項目ごとにON/OFFを設定することができます。
- **情報保持**
  レベル3情報の保持時間を30分間または60分間に設定します。
- **VICSデモ (デモンストレーション動作)**
- **8行表示機能**
  停車中の文字表示を8行にします。
- **自動ページ送り (FM交通情報および図形情報)**
  「遅い」または「速い」に設定すると、停車時にページを自動で送ります。
- **自動ネットサーチ機能**
  同系列局に周波数を自動的に切り換えます。

ご注意

- VICSの初期設定項目は、FM文字多重の初期設定項目と連動しています。ここで設定を変更した項目は、FM文字多重でも変更されます。
- 地図の縮尺によってはレベル3情報は表示されません。
- 保持時間をオーバーした情報は自動的に消去されます。
- 安全のため、「初期設定」画面を走行中に表示することはできません。停車中にパーキングブレーキを引いて操作してください。また、「初期設定」は安全のため、VICSボタンを押してVICSメニューを表示させてもメニューに表示されません。
- 自動ネットサーチ機能が働いていると、選局画面で選んだ放送局が自動的に切り換わってしまうことがあります。このときは、自動ネットサーチ設定を「OFF」にしてください。

初期設定のしかた

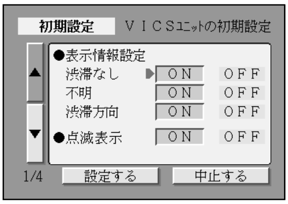
1 メニューボタンを押す

2 「拡張」に▶を合わせて決定ボタンを押す

3 「VICS」に▶を合わせて決定ボタンを押す

4 「初期設定」に▶を合わせて決定ボタンを押す

「初期設定」画面になります。



前後のページを表示するには

▲前ページ／▼次ページ送りボタンに▶を合わせて決定ボタンを押す。

5 必要な項目に▶を合わせて決定ボタンを押し、「設定する」に▶を合わせて決定ボタンを押す

設定を中止するには

「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには

リモコンの「現在地」ボタンを押す。

FM文字多重放送の設定

「初期設定」画面は2ページに分かれており、次のような項目を設定します。

- **8行表示機能**
  停車中の文字表示を8行にします。
- **自動ページ送り**
  「遅い」または「速い」に設定すると、停車時にページを自動で送ります。

ご注意

FM文字多重放送の初期設定項目は、VICSの初期設定と連動しています。ここで設定を変更した項目は、VICSでも変更されます。

初期設定のしかた

1 メニューボタンを押す

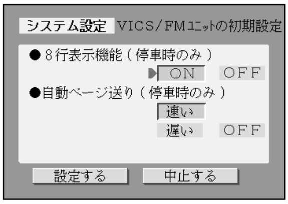
2 「拡張」に▶を合わせて決定ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。

3 「FM文字多重」に▶を合わせて決定ボタンを押す

4 「初期設定」に▶を合わせて決定ボタンを押す

「初期設定」画面になります。



5 必要な項目に▶を合わせて決定ボタンを押し、「設定する」に▶を合わせて決定ボタンを押す

設定を中止するには

「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押す。

地図画面に戻るには

リモコンの「現在地」ボタンを押す。

D-GPS (ディファレンシャルGPS) の設定

本機は、D-GPS機能に対応しています。

D-GPS機能とは

GPS衛星からの信号に加え、(株) 衛星測位情報センターがFM多重放送を使って提供するGPS補正データを受信し、測位精度を向上させる機能です。また、自動サーチにより常に受信状態の良い周波数を選局します。

D-GPS機能とVICS機能の切り換え

D-GPS機能は、VICSとは放送局が異なるため、チューナーが1つのシステムではVICS機能との切り換えが必要です。ただし、別売りのNVA-VF1を接続すると常に両機能が働くため、切り換えは不要です。

ご注意

D-GPS機能をONにすると

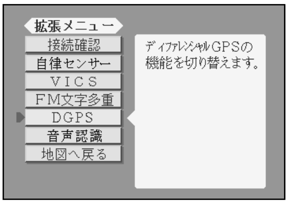
- VICSのFM多重のレベル3は受信できません。ただし、受信状態によっては、自動サーチ中に受信することがあります。
- VICSのレベル1、2を表示するまでに時間がかかることがあります。

D-GPS機能をON/OFFするには

1 メニューボタンを押す

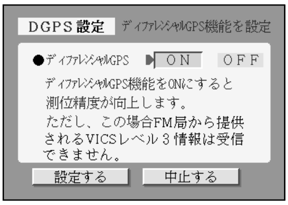
2 「拡張」を選び、決定ボタンを押す

拡張メニュー画面になります。



3 「DGPS」を選び、決定ボタンを押す

DGPS設定画面になります。



ON：測位精度が向上します。ただし、FM多重局から送信されるVICS 3情報は受信できません。

OFF：VICSのFM多重局を受信するとき選びます。

4 ONまたはOFFを選ぶ

5 「設定する」を選び、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

ご注意

- GPS衛星やGPS補正データの状態によっては、機能が十分に働かないことがあります。
- FM放送局が番組編集などの都合により、GPS補正データを一時的に送信しないことがあります。

地図画面での表示

D-GPS機能をONにすると、地図画面上にDGPSマークがグレーで表示されます。GPS補正データをFM多重局から受信してD-GPS機能が働くとDGPSマークが白く変わります。

D-GPS機能のクイック登録

上図のD-GPS機能のON/OFF切り換えは、リモコンのクイックボタンに登録することができます。

よく使う機能をクイックボタンに割り当てる

よく使うメニュー項目をクイックボタンに登録すると、メニューから選ぶ操作を省略できます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「クイック登録」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

4 **登録する機能に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



設定を中止するには、「メニューへ戻る」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

設定と調整

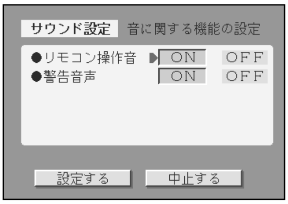
音声の設定

操作時やルートガイド中の音声の働きを設定します。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「サウンド」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



リモコン操作音：ボタン操作時の確認音のON/OFF

警告音声：さまざまな警告音声のON/OFF

4 **必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す。**

5 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

ワールド設定（設定時は必ずGPS/FMアンテナを接続してください）

使う地域の設定（ポジションセット）

海外で使うときなど使用場所を大きく移動した場合、GPS衛星の電波を早く正確に受信するために、使用場所を設定します。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ワールド設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



4 **「ポジションセット」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

現在の設定状態が表示されます。

5 **「変更する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

6 **カーソルボタンで□を本機を使用する地域に合わせ、決定ボタンを押す**



白い□：設定されている地域
赤い□：設定を変更する地域

選択した地域名が表示されます。

7 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

時間地域設定画面になります。



8 **カーソルボタンを左右に押して、本機を使用する時間地域を選び、決定ボタンを押す。**



9 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて決定ボタンを押します。

その他の設定

本機を使用する地域のサマータイム、距離表示の単位、使用する速度を設定します。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「ワールド設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



サマータイム：夏時間のON／OFF

距離単位*1**：** 表示する距離の単位の選択

使用速度*2**：** 歩きながら使用したり、移動中の乗り物の中で使用するときの速度の選択

4 **必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

5 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

*1 距離単位について

地図の縮尺表示や、ルートガイド中の目的地までの道のりなど、距離表示の単位を変更できます。

Km：　メートル表示
Mi：　マイル表示
N.Mi：ノーティカルマイル（海里）表示

ご注意

Mi または N.Mi に設定すると、ルートガイド中にガイドポイントまでの道のりなどを知らせる音声ガイドなどはありません。

*2 使用速度について

屋外で使用するときは、GPS衛星の電波を正しく受信するために使用速度を設定する必要があります。
使用速度は、移動中の乗り物によって次のアイコンの中から選びます。


：歩行速度


：船舶速度


：カーステーションに取り付けて使用するとき

ご注意

「歩行速度」に設定したときは、進行方向の表示に誤差が大きいため、自車マークに進行方向は表示されません。

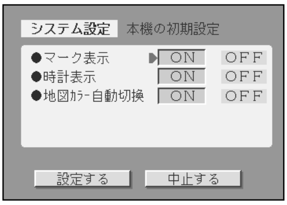
システムの設定

本機のシステム上の初期設定を変更できます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「システム」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



マーク表示：地図上のマーク表示のON/OFF

時計表示：画面の時計表示のON/OFF

画面カラー自動切換*：地図画面とメニュー画面の夜/昼モード自動切り換えのON/OFF（GPS/FMアンテナ接続時のみ）

4 **必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

5 **「設定する」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」に▶を合わせて、決定ボタンを押します。

＊画面カラーについて
画面のカラーは、日付、時刻、緯度経度などの条件により、大まかな夜／昼を本機が判断して切り換えます。
画面カラー自動切り換え機能は、機能に対応したディスクをお使いになった場合のみ働きます。機能に対応していない地図ディスクをお使いの場合には、設定が「ON」でも画面カラーは切り換わりません。この場合、画面カラーは昼モードに固定されます。

ご注意
夜間に「画面カラー自動切換」をONに設定しなおしたときや、地図ディスクを入れ換えた場合、画面カラーが切り換わるまでしばらく時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

画面の位置を微調整する

この機能は、別売りのホームステーションXA-86NVを使用してテレビなどを接続したときにおきる画面の中心位置のずれを調整するためのものです。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「各種設定」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「画面位置調整」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタンを上下左右に押して＋位置を画面の中央に合わせ、決定ボタンを押す**

地図画面に戻ります。

メニュー画面に戻るには
メニューボタンを押します。

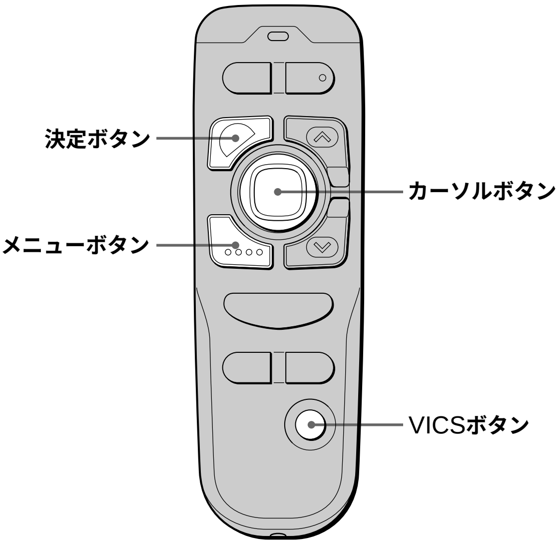
XA-150S（別売り）をお使いの場合
XA-150Sの取扱説明書には別売りの自律航法ユニットを接続するとスタンバイ機能が使えると記載されていますが、本機ではスタンバイ機能は働きません。

別売りの機器を接続したとき

本機には、以下のような別売りの拡張ユニットを接続することができます。

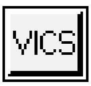
- 自律航法ユニットXA-150S
- 音声認識ユニットNVA-VR1
- VICS対応FM多重ユニットNVA-VF1
- VICS対応ビーコンユニットNVA-VB1

なお、上記の拡張ユニットに対応したプログラムは、すでに本機に組み込まれていますので、バージョンアップディスクを付属している場合でも、プログラムを変更する必要はありません。

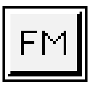


ちょっと一言

内蔵の機能と拡張ユニットの接続は起動時の画面でも確認できます。



VICS対応FM多重ユニット内蔵



FM文字多重放送受信ユニット内蔵



音声認識ユニット接続中



自律航法ユニット接続中



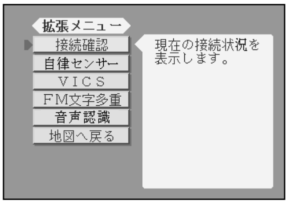
DGPS対応FM多重ユニット内蔵

拡張ユニットを使う

別売りの拡張ユニットの操作は拡張メニューで行います。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「拡張」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



3 **カーソルボタンで操作する拡張ユニット名に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

それぞれの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

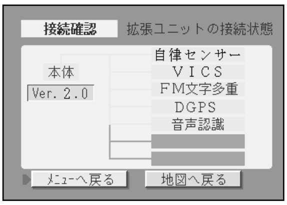
拡張ユニットの接続を確認する

現在接続されている拡張ユニットを確認することができます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **「拡張」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 **「接続確認」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**



自律航法ユニットの動作を確認する

別売りの自律航法ユニットに付属されている取扱説明書の内容は本機には当てはまりません。
こちらの説明をご覧ください。

測位システムについて

自律航法について

GPS衛星からの電波が正しく受信できないとき、センサーの働きによって自車位置を検出し、地図画面上に表示する機能です。
正確な測位のためには、自律航法ユニットを正しく取り付ける必要があります。詳しくは、「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

マップマッチング

誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。
この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

ご注意

マップマッチングを正しく機能させるためにも、自律航法ユニットは正しく取り付けてください。

別売りの自律航法ユニットを接続したときは、自律センサーが正しく動作していることを確認するために、センサー情報画面で次の操作を行ってください。

ご注意

運転者が自律センサーの動作確認を行うことは危険です。
必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。

誤差を小さくするために

30分間の走行を!

初めて自律航法ユニットを取り付けたときや、別の車に自律航法ユニットを付け換えたときなどに、しばらくのあいだ現在位置表示の誤差が大きくなることがあります。これは、車種によって異なる車速パルスの種類を自動的に算定したり、タイヤ径などによって生じる車速パルスの誤差を補正したりといった計算を行っているためで、故障ではありません。
正常に動作するまでのあいだ、約30分間、GPS衛星からの電波を受信した状態で走行してください。
リセットボタンを押したあとや、自車マークが黒の状態で電源を切って再び電源を入れたあとなども同様に操作してください。

5秒間の停車を!

車のキーをON位置にしてすぐに車を発進させると、自車マークが実際の走行方向と違う方向に進むことがあります。この場合、しばらく走行すると正しい位置に表示されますが、測位の精度を上げるためには、約5秒間停車することをおすすめします。

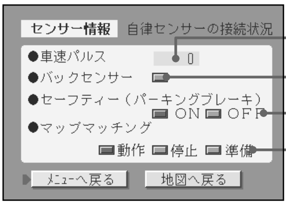
1 **メニューボタンを押し、「拡張」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

拡張画面になります。

2 **「自律センサー」に▶を合わせて、決定ボタンを押す**

3 「センサー情報」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

画面の確認は、必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。



車速パルス：この画面を表示した状態で車を安全な場所でゆっくり走らせて、数字が変化することを確認してください。車の速度を上げると、数字が大きくなります。

バックセンサー：シフトレバーがリバースの位置にあるときに、ランプが赤く点灯することを確認してください。

セーフティ：パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でON側のランプが赤く点灯していることを確認してください。

マップマッチング：マップマッチングが動作しているときは「動作」ランプが赤く点灯します。また、初めて本機を取り付けたときや別の車に付け替えたときなどは、しばらく「準備」ランプが点灯します。準備が終了すると、「動作」ランプが点灯しますが、つぎのようなときは、「停止」ランプが赤く点灯します。

- 地図ディスク上にマップマッチング情報のないエリアを走行しているとき
- 準備が終了した後に車速センサーコードがはずれてしまったとき

ご注意

- 確認のためのランプが点灯するまで数秒間かかる場合があります。
- マップマッチングの「準備」ランプが点灯しているときは、ルートガイドの音声案内や交差点拡大図の表示などを正しく行うことができません。走行中の交差点名や道路名は表示しません。また、〝詳細地図〟を表示したとき、自車位置を正しく表示しません。

自車位置を修正する

フェリーなどで移動したあとに本機を使用すると、GPS衛星からの電波を受信するまで、自車マークが現在位置と一致しないことがあります。このような場合は、自車位置修正を行うことをおすすめします。また実際に走行している道から、自車マークが大きくはずれて表示された場合や、本機の電源を切って走行したあと再び電源を入れた場合にも、自車位置を修正することをおすすめします。

ご注意

以下の操作は走行中に行うことはできません。必ず安全な場所に車を停車させてから、操作してください。

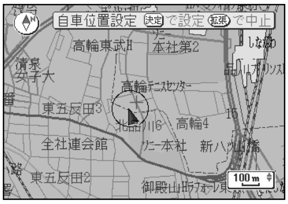
1 メニューボタンを押し、「拡張」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

拡張メニューになります。

2 「自律センサー」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

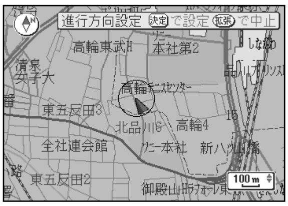
3 「自車位置修正」に▶を合わせて、決定ボタンを押す

自車位置修正画面になります。



4 カーソルボタンで＋マークを正しい自車位置に合わせ、決定ボタンを押す

自車マークは色が変わり、＋マークの位置に表示されます。



5 カーソルボタンを左右に押して自車マークの向きを進行方向に合わせ、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

自車位置の修正を中止するには

現在地ボタンを押します。

別売りの機器を接続したとき

車内でテレビを見る

別売りのナビシステム専用TVチューナーユニットXT-50NVを接続すると、車内でテレビを見ることができます。また、音声は内蔵のスピーカーで聞くことができます。（接続の方法は、「取付けと接続」をご覧ください。）

安全運転のために

- テレビ画面は、パーキングブレーキを引いて車が停車中でないと見ることはできません。
  テレビ画面のままパーキングブレーキを解除すると、自動的に地図画面に戻ります。テレビ音声はそのまま聞こえます。(オートサイマル機能)
  車を停車させるとテレビ画面に戻ります。
- テレビ放送などを見るときは、安全な場所に停車してご覧ください。

1 本体の外部入力ボタンを押す

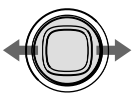
テレビ画面になります。
外部入力ボタンを押すたびに、画面が切り換わります。

→地図画面 →本機の映像・音声入力（またはテレビ）

ただし、入力がない場合は、自動的に地図画面に戻ります。

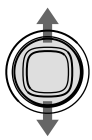
2 チャンネルを選ぶ

自動選局



受信できるチャンネルを自動的に探しながら選局します。

メモリー選局

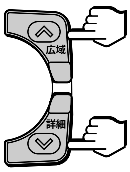


XT-50NVにメモリーされているテレビ局を順番に選局します。

ご注意

- メモリー選局はテレビ局をメモリーしていないと使えません。
- メモリーされているテレビ局でも、電波が弱いときは受信できません。

3 音量を調節する



上げる
下げる

調節のしかた

画面を見ながら、リモコンでボリュームをセンター付近に調節したあと本体の音量つまみを調節して、適度な音量になるようにしてお使いください。
ズームボタンで音量を上げても、音量が大きくならないときは、本体の音量つまみで音量を上げてください。

地図画面に戻すには

外部入力ボタンを再度押します。

テレビ画面の明るさを切り換えるには

回転 (明/暗) を2秒以上押します。
押すたびに、画面の明るさが2段階に切り換わります。

テレビ局をメモリーするには

テレビを見ているときにメニューボタンを2秒以上押します。
受信できるテレビ局を探して、低いチャンネルから12局まで自動的にメモリーします。(オートメモリー機能)
受信できるテレビ局が少ないときは、受信可能なテレビ局だけをメモリーします。

テレビの音声を聞きながら地図画面を見るには (サイマル機能)

テレビ画面で外部入力ボタンを2秒以上押します。
地図画面に戻ると自動的にサイマル機能が働きます。

サイマル機能を解除するには

地図画面で外部入力ボタンを2秒以上押します。

XT-50NVに接続したビデオの画面を見るには

テレビ画面のときに目的地ボタン（リモコンのみ）を押すと、ビデオ画面になります。
もう一度目的地ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。

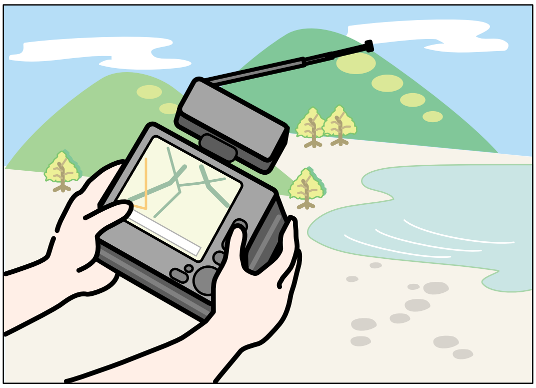
ご注意

- サイマル機能中は、チャンネルは選べません。
- サイマル機能中でも地図ディスクの音声信号は出力されます。例えば、ルートガイド中に経由地などへの接近を知らせるアラーム音や音声は、サイマル機能中でも聞こえます。

車外に持ち出して使う

別売りバッテリーNP-F530**および**NP-F550**などを**2**本使用して、屋外に持ち出して使用することができます。**

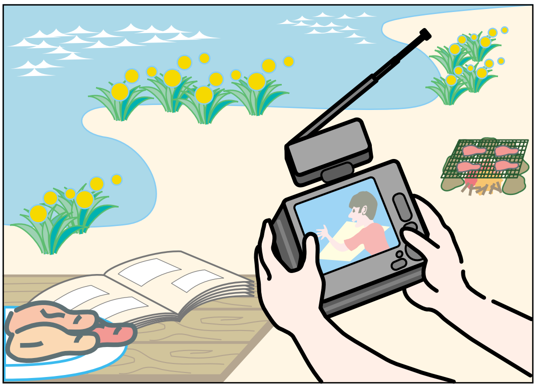
車で目的地へ到着した後は、バッテリーを使って本機を車の外へ持ち出せます。**使用速度設定機能**（63ページ）や**オートパワーセーブ機能**（81ページ）などのアウトドア機能を備えていますので、ハイキングやサイクリングなどに出かけたとき、自分のいる場所がわかります。



さらに、キャンプ地などで、別売りのTV**チューナー**XT-15NV**を接続すると、アウトドアでテレビを楽しめます。**

（接続については、XT-15NVの取扱説明書をご覧ください。）

ご注意
カーステーションから外した状態で、VICS情報を受信することはできません。

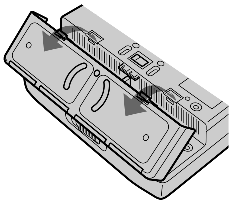


バッテリーの入れかた

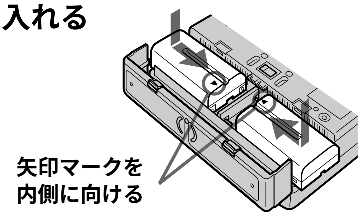
バッテリーは必ず2個とも充電してからお使いください。

1 バッテリーボックスのふたを開ける

両側のツメを押します。

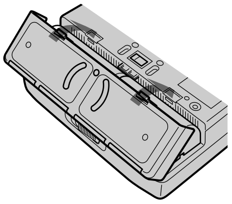


2 2個のバッテリーを、矢印の方向に入れる



3 バッテリーボックスのふたを閉める

カチッと音がするまで押します。



本機をバッテリーで使うときは、別売りのバッテリーNP-F530およびNP-F550などが2個とバッテリーチャージャーBC-V500が必要です。
- 必ず2個とも同じバッテリーをお使いください。
- 同じバッテリー同士でも、途中まで使うなどして、片方が容量の減っているバッテリーを組み合わせて使うことはおやめください。必ず両方とも充電済みのものをお使いください。

いずれの場合も故障の原因となります。

別売りのホームステーションキットXA-86NVを使用すると、バッテリーを本機に入れたまま充電することができます。詳しくは、XA-86NVの取扱説明書をご覧ください。

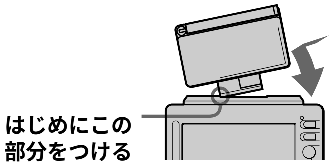
ご注意

車外へ持ち出すときは、裏面の端子に手がふれないようシャッターを閉じてください。

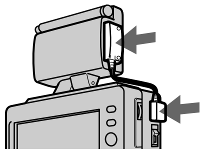
アンテナの取り付けかた

アンテナの取り付け、取り外しは、必ず本体の電源を切ってから行ってください。

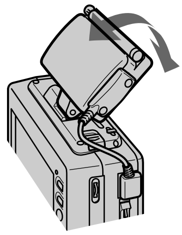
1 本体にアンテナを取り付ける



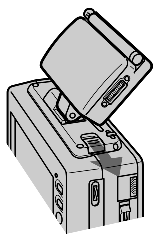
2 アンテナケーブルをつなぐ



3 アンテナの向きを調整する（空に向くように）



取り外しかた



持ち運ぶときは

アンテナを持たないでください。

車の中で使うときには

カーステーションに付属のアンテナホルダーにGPS/FMアンテナを取り付けます。

禁止

アンテナを本体に取り付けたまま車内で使用しないでください。視界を妨げるおそれがあります。

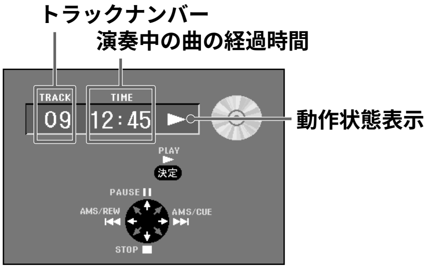
音楽CDを聞く

地図ディスクの代わりに音楽CDを入れて、本機をCDプレーヤーとして使用できます。(8cmシングルCDも演奏できます。)

1 音楽CDを入れる

2 電源スイッチを「入」にする

演奏が始まります。



演奏中の操作

ボタン	表示	動作
決定	►	演奏を開始する
⬆	❚❚	一時停止する
⬇	■	停止する
➡	▶▶❘ ▶▶	次の曲の先頭に飛ぶ 2秒以上押し続けると早送りする
⬅	❘◀◀ ◀◀	演奏中の前の曲の先頭に飛ぶ 2秒以上押し続けると早戻しする

ご注意

- CD演奏中は、ナビゲーション機能は働きません。
  カーステーションに取り付けてお使いになる場合には、音楽CDは再生できません。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると、取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 本機にバッテリーを入れているとき、音楽CDを再生中に電源を切るとレジューム機能が働きます。再び電源を入れると、電源を切る前の演奏時間から再生を始めます。
  バッテリーを本機から抜いた場合やふたを開いた場合は、レジューム機能は働きません。

車外に持ち出して使う

FM放送を聞く

カーステーションからはずした状態では、FM放送の音声（一般のFM番組）を聞くことができます。
選局などの操作については、「FM文字多重放送を見る」（48〜53ページ）をご覧ください。
音声はモノラル音声になります。

ご注意

音声/映像入力ジャックにミニプラグを接続しているときは、接続されている機器の音声が出力され、FM放送の音声を聞くことができません。

別売りのヘッドホンで聞くには

ステレオミニプラグのヘッドホンをヘッドホンジャックに接続します。ただし、歩行中は危険ですので、絶対に使用しないでください。

音量を調整するには

音量つまみで調整します。

車外でテレビを見る



別売りのTVチューナーXT-15NVを使うと、屋外で本機を使用するときに、テレビを見ることができます。
使いかたについて詳しくは、XT-15NVの取扱説明書をご覧ください。
なお、XT-15NVを本体に取り付けて車内に設置すると、前方視野が狭まり安全上危険ですので、絶対に使用しないでください。

ご注意

XT-15NVを使ってテレビを見ているとき、外部入力ボタンを押して地図画面に戻すと、初期画面になります。
また、サイマル機能（68ページ参照）は働きません。

その他

誤差について

GPS衛星自体による誤差

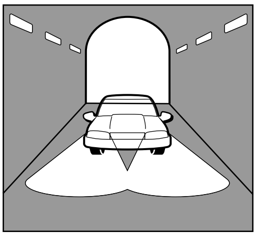
本機では、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位しますが、場合によっては約200メートルの誤差を生じることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測位精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。このような場合は、実際に走行している道と地図上での自車マークの位置が完全には一致しなくなり、実際に走行している道とは異なる道路に自車マークが表示されることもあります。

* GPS衛星について、詳しくは「本機の概要」(7ページ) と「用語集」(90ページ) をご覧ください。

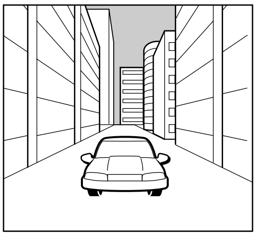
衛星からの電波が受信できないとき

GPS衛星からの電波がとどかないトンネルの中や地下、電波をさえぎる高い建物や樹木などの障害物がある場合では、実際の車の位置と自車マークがずれることがあります。

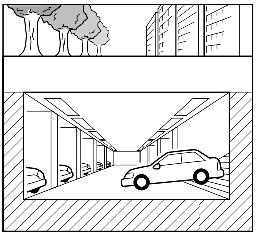
トンネルの中



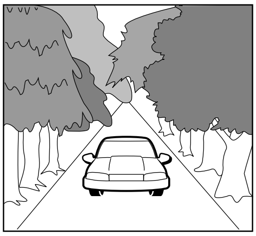
高層ビルの間



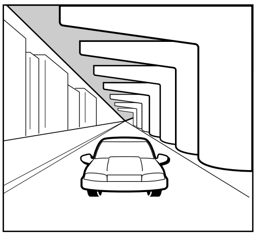
地下



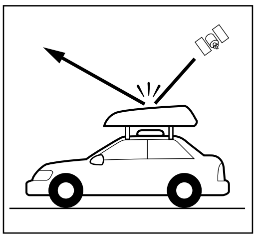
密集した樹木の間



高架の下



GPSアンテナがルーフキャリアの下に設置してあるとき



音楽CDを演奏してから、地図ディスクを入れたとき

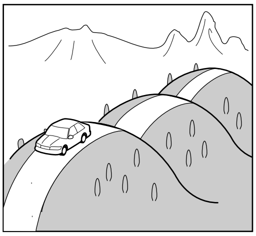
自律航法／マップマッチングによる誤差（別売りの自律航法ユニット XA-150Sを接続した場合）

次のような状況では自律航法やマップマッチングが正しく働かず、誤差が大きくなることがあります。

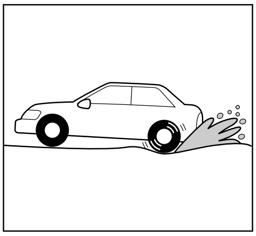
*「自律航法」「マップマッチング」について詳しくは、「用語集」(90ページ) をご覧ください。

走行状態が正しく測定できない

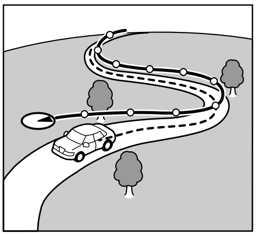
勾配の急な山道



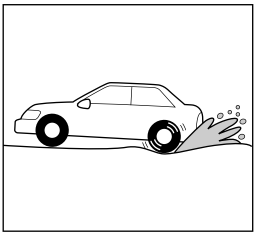
雪道や砂利道でのスリップ



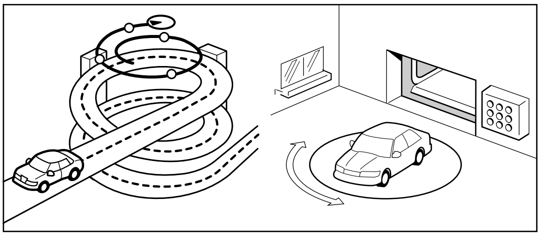
ヘアピンカーブ



蛇行運転

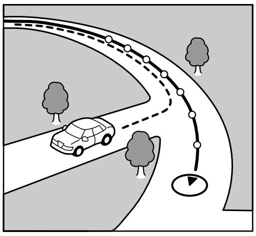


ループ橋やターンテーブルでの旋回

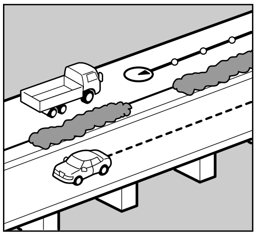


マップマッチングで自車マークが他の道路にのってしまう

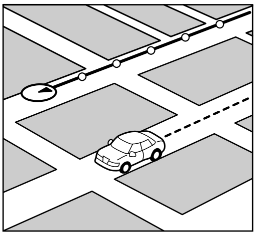
角度の小さなＹ字路



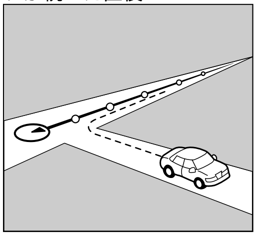
上り下り二車線の場合



並行している道がある

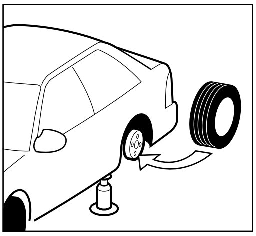


長い直線や緩やかなカーブが続いた直後



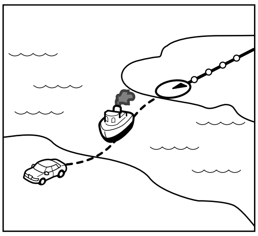
その他

タイヤやチェーンの交換後



電源を切って走行したあとに電源を入れたとき

フェリーなどで移動したあと



使用できるディスクについて

地図ディスクについて

本機はナビ研S規格専用です。本機で使用する地図ディスクは、必ずナビゲーションシステム研究会統一S規格のシンボルマーク (ナビ研S規格マーク) がついている地図ディスクをお使いください。
ナビ研S規格のマークのついている地図ディスクは、ナビゲーションシステム研究会の共通規格の基づいて作成、販売されている地図ディスクです。このマークがついている地図ディスクは、その製造メーカーにかかわりなく本機で使用できます。

推奨ディスク
ゼンリン　ナビソフトドライブマップ2
Super関東版、その他の地域版シリーズ

naviken S　naviken S

ナビゲーションシステム研究会統一S規格マーク

〝詳細地図〟について

ナビ研S規格の地図ディスクは、従来よりもさらに詳細な縮尺 (25～50m) の〝詳細地図〟に対応しているものがあります。

従来地図



〝詳細地図〟



地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

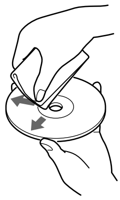
本書で使用している画面は説明用のものです。
また、地図画面の色や内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますので、ご了承ください。

保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い場所には置かないでください。
特に夏季、直射日光下で閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

ご使用になる前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

結露について

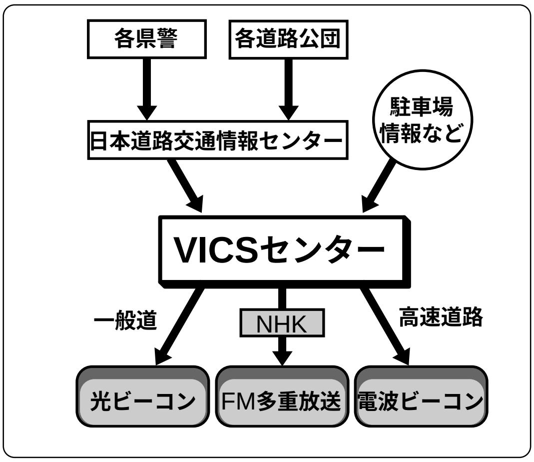
寒いときにヒーターをつけた直後など、ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露 (水滴) を生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

VICSについて

VICSとは

VICS (Vehicle Information and Communication System) とは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。
従来の道路交通情報は、都道府県の警察や各道路公団等によって情報収集され、それぞれが交通情報を発信すると同時に日本道路交通情報センターでまとめて発信されていました。
VICSセンターは、官学民の協力によってこれらの情報を一元化し、リアルタイムで、より精度の高い交通情報を提供することなどを目的にして設立された財団法人です。

VICSのしくみ



* VICSは、東京、神奈川、千葉、埼玉、長野、愛知、大阪、京都、兵庫、全国都市間高速道路がサービス地域です。('98年3月現在)

VICSが提供する情報の種類

VICSセンターが供給するサービス情報には、次のような種類があります。

- **渋滞情報** (渋滞地点、渋滞区間など)
- **所要時間情報** (主要地点間の所要時間)
- **交通障害情報** (事故、故障車、工事など)
- **交通規制情報** (通行止め、速度規制、車線規制など)
- **駐車場情報** (駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など)

本機で受信するVICS情報

VICSセンターが提供する情報は、各都道府県単位の広域情報（FM多重放送で提供）と高速道路上など限定地域での詳細情報（電波ビーコン、光ビーコンで提供）に大きく分かれます。

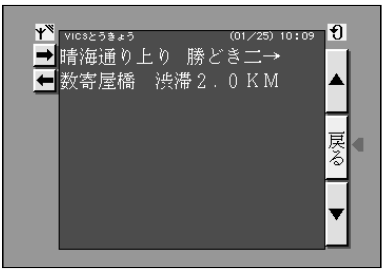
- 本機が受信するVICS情報は、FM多重放送で提供される広域道路交通情報のみです。
- 情報は都道府県単位で、高速道路情報などを加えて発信されます。
- 内容は5分ごとに更新されます。(2.5分単位で2回送信)
- FM放送とFM多重放送では受信可能エリアに差があります。そのため、FM放送が受信できる地域でもFM多重放送が受信できない場合があります。VICS情報はVICSセンターがNHKの設備を使って放送しているもので、NHKのFM文字多重放送とは異なります。また、全国すべてのNHK放送局から発信されているものではありません。

VICS情報の表示について

VICS情報は次の3種類の表示方法で見ることができます。

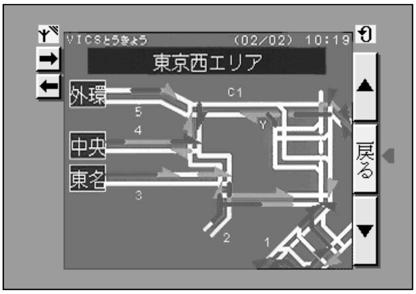
レベル 1（文字情報表示）

高速道路や一般道路のVICS情報を文字表示します。



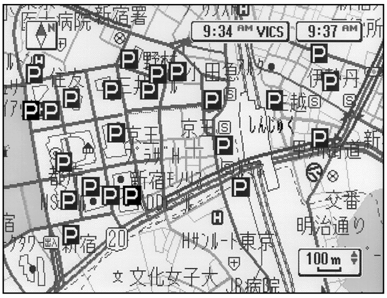
レベル 2（図形情報表示）

交差点の道案内標識のようなパターン化された図形でVICS情報を表示します。
高速道路での各インターチェンジ間の所要時間などを図で示すこともできます。



レベル 3（地図情報表示）

カーナビゲーションシステムの地図画面上にVICS情報を重ねて表示します。
画面上には、情報の提供時間とメディアのシンボルが表示されます。
現在の走行地点と渋滞状況などが一目でわかります。
渋滞：赤色のライン
混雑：燈色のライン
渋滞なし：緑色のライン
不明：グレイのライン
渋滞方向：それぞれのラインに矢印で表示
駐車場、SA/PA (サービスエリア/パーキングエリア) 情報、事故/規制などの情報は、それぞれアイコンで表示されます。表示されたアイコンにカーソルを合わせて決定ボタンを押すとさらに詳細な情報を文字で表示します。



VICSに関するお問い合わせ

VICSの概念・計画 表示内容	（財）VICSセンター TEL (03) 3592-2033（東京） TEL (06) 209-2033（大阪） 電話受付期間 9:30〜17:45 (土日、祝祭日は除く） FAX (03) 3592-5494 (24時間受付）
表示内容（レベル3） サービスエリア 受信可否 車載機の調子、 機能、使いかた	ソニーご相談窓口 (付属の「ソニーご相談窓口のご案内」をご覧ください。)

VICSの運用時間

FM多重　　朝6:00〜翌朝1:00

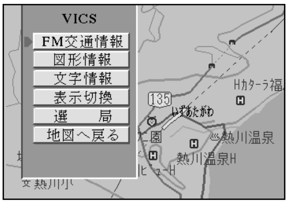
メニューの種類について

安全のため、パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でないと設定や登録などの複雑な操作はできません。

走行メニュー
走行中にメニューボタンを押すと、「GPS天空図」など、走行中に操作できるメニューが表示されます。

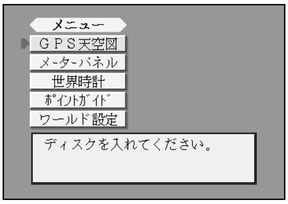


VICS**メニュー**
VICSボタンを押すと、VICSのメニュー操作ができます。(初期設定を除く)



NO DISC**メニュー**
地図ディスクを入れない状態では、次のメニューを見ることができます。
- GPS天空図
- メーターパネル
- 世界時計
- ポイントガイド
- ワールド設定

上記以外の機能を使うためには、地図ディスクが必要です。

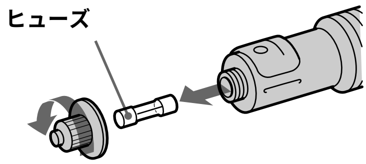


ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

ディスプレイなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量 (アンペア数) のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

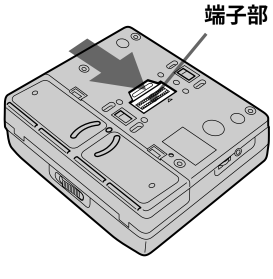


GPS/FM**アンテナ**
- 車内ではGPS/FMアンテナのロッドアンテナはのばさないでください。視界の妨げになり危険です。車内でFM放送を受信するためには、別売りのアンテナ分配ブースターユニットXA-46FMまたは別売りのアンテナVCA-14が必要です。
- 携帯電話などの強い電波を出す機器をGPS/FMアンテナの近くに置かないでください。また、これらの機器を車の中で使用しないでください。

地図ディスクプレーヤー
水がかからないようにしてください。特に、水にぬれた靴や傘、ボディーカバー等の水滴が直接かからないようにご注意ください。

本体

- 極端に低温または高温になるところに置かないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)
  また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、駐車中には取り外し、日光が直接当たらないようにしてください。
- 本体裏の通風孔をふさがないようにしてください。
- 雨や風にさらさないでください。(特にオープンカーに取り付けた場合はご注意ください。)
- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を入れないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因になります。
- 砂やほこりがすきまから入り込むと、故障や事故の原因になりますので、屋外使用時はご注意ください。
- 裏面の端子には決して手をふれないでください。故障の原因になります。車外に持ち出すときは、シャッターを閉じてください。
  もし端子が汚れたときは、必ず本体の電源を切ったあと、綿棒などに無水アルコールをつけて、軽く端子部をふいてきれいにしてください。



海外でお使いになるときのご注意

お使いになる国によっては、車室内にモニターを取り付けたり、テレビなどを見ることを法律で禁止している国がありますので、ご注意ください。

液晶パネル

- 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- お手入れについては、次のことをご注意ください。
  - 液晶パネルについたホコリやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
  - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
  - 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることがありますので使用しないでください。
- 寒いところでご使用になる場合、内部照明(バックライト) が暗くなりますが、周囲の温度が上がるともとに戻ります。
- 温度が－10℃以下または50℃以上のところでは使用しないでください。
- かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。
- モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。
  液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画面がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
  このナビゲーションシステムをお使いになる上で支障はありません。

内蔵のリチウム電池について

地点、マークなどのメモリーは、本体内蔵のリチウム電池で保持しています。また、GPS衛星の情報は、GPSアンテナ内蔵のリチウム電池で保持しています。リチウム電池の寿命は使用状態で異なりますが、約4～5年です。リチウム電池の交換については、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

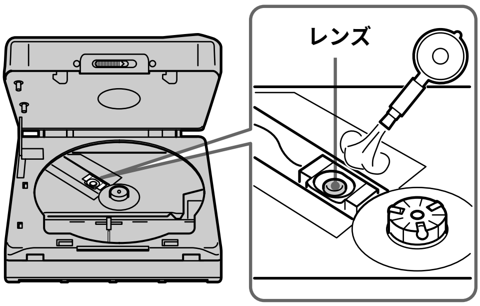
次のページへつづく

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、地図ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露 (水滴) を生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、地図ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

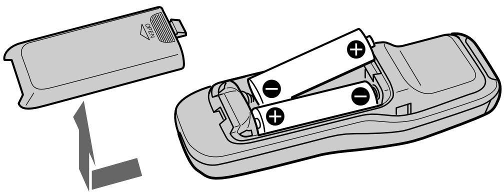
レンズの汚れは

汚れた手でレンズに触れてしまったり、レンズの汚れが原因で音とびがおきたり、演奏できなくなったりした場合は、レンズクリーニングキットKK-DM1（別売り）を使って下の図に示されたレンズをきれいにしてください。



リモコン

電池の入れかた



単3形乾電池2本を＋－を正しく入れる。

乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、カーソルボタンでスクロールの操作をひんぱんに行うと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。
リモコンの操作ボタンを押しても、LEDが点滅しなくなった場合は、電池の寿命です。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

バッテリーを使うときの注意

別売りのリチウムイオン電池を使うときは、必ず電池に付属の取扱説明書をご覧になり、安全にお使いください。充電器はバッテリーチャージャーBC-V500およびホームステーションXA-86NVを使うことをおすすめします。

⚠危険

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中にいれない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- リチウムイオン電池は、火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

オートパワーセーブ機能

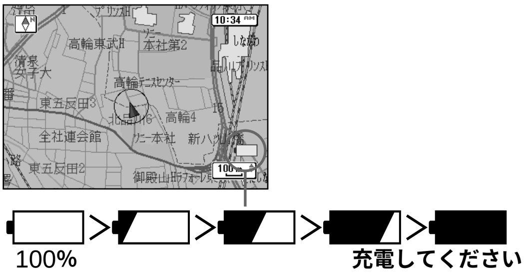
バッテリーの寿命を維持するため、2分間以上操作ボタンを押さずにいると、本体の操作ボタンの点灯と画面の表示が消えます。本体の操作ボタンを押すと、画面が表示されます。リモコンでは反応しません。
20分間以上放置すると、自動的に電源が切れます。

ご注意

オートパワーセーブ機能が働いている状態で電源スイッチを操作しても電源は切れず、パワーセーブ機能が解除される状態になります。
電源を切るときは、パワーセーブ機能が解除された状態から再度電源スイッチを操作してください。

バッテリーインジケーター

バッテリー使用時は、地図、音楽CDの画面にバッテリーインジケーターが点灯し、バッテリーの消耗状態を表示します。



バッテリーがなくなると、「バッテリーがなくなりました。バッテリーを充電してください。」と表示され、本体の電源が切れます。

バッテリーの上手な使いかた

別売りのバッテリーはケース内に入れたまま放置すると、約一週間で空になります。またケースから外しておいても、少しずつ自然に放電します。必ず使用直前（1日〜2日前）に充電をし直してください。

その他

レーダー探知機などを動作させると、その電波の影響により本機や本システムが正しく動作しないことがあります。

メッセージが出たら

●内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	原因	処置
「あと××個のマークがつけられます。」	マーク用のメモリーが残り少ないときに、マークをつけた。	−
「安全のため、走行中は操作ができません。」	メニューを開いてから走行を始めた。	安全な場所に車を停車させてから、操作してください。
「安全のため地図画面に戻ります。」	テレビを見ているときに (外部入力時) 車を走行させた。	車を停車させると、自動的にテレビ画面に戻ります。
「温度保護回路がはたらきました。」	本機の温度が上昇した。	温度が下がるまで本機の電源を切ってお待ちください。
「外部入力の画面です。」	車のイグニッションスイッチをACCまたはON位置にしたときや、本機を動作したときに、本機が外部入力に切り換わっていた。	地図画面にするには、外部入力ボタンを押してください。68
「現在地の地図がありません。」	お使いになっている地図ディスクに収録されていない地域に自車の現在地がある。	自車の現在地の収録されている地図ディスクをお使いください。
「この縮尺はありません。自動変更します。」	• お使いになっている地図ディスクに収録されていない縮尺の地図を選んだ。 • 地図が自動スクロールして、それまでの縮尺の地図がない地域になった。	本機は自動的に地図の縮尺を変更し、広域な地図を選んで表示します。
「システムエラー　リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	リセットボタンを押してください。86
「指定された最寄りランドマークを表示することができません。」	メモリーが足りない。	一度電源を切るか、場所を変えて、もう一度最寄り表示を行ってください。
「指定されたランドマークが周辺にありません。」	指定したランドマークが周辺にない。	カーソル位置を移動して改めて「最寄り表示」操作をしてください。
「設定した付近の地図がありません。」「設定した自宅の地図がありません。」	設定したときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	設定されている自宅、経由地、目的地が収録されている地図ディスクをお使いください。
「探索計算結果がありません。」	自動ルート探索実行前に、ルート確認操作をした。	出発地、経由地、目的地設定後、自動ルート探索を行ってから「ルート確認」を選択してください。16 19

メッセージ	原因	処置
「地点を設定した地域の地図がありません。」	• 緯度/経度が正しい数値で入力されていない。 • 入力された緯度/経度の地域が収録されていない地図ディスクを使用している。	–
「ディスクを入れてください。」	本機にディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。❾
「ディスクエラー」	• ディスクを裏返しに入れたときや、ディスクが汚れている。 • 結露した。	• ディスクの表裏を確認して入れてください。汚れている場合は、別売りのクリーニングクロスなどでディスクをきれいにしてください。⓯75 • ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。75
「ディスクフォーマットエラー」	音楽CDまたはナビゲーションシステム研究会統一規格以外のディスクを入れた。	音楽CDまたはナビゲーションシステム研究会統一規格のディスクをお使いください。
「マークをつけた地域の地図がありません。」	マークをつけたときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	マークをつけた地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「マーク250個すべてをつけました。」	地図にマークを250個つけた。	250個以上のマークはつけられません。
「これ以上マークをつけられません。マークをつけるには、不要なマークを消去してください。」	地図にマークが250個ついているときに、さらにマークをつけようとした。	不要なマークを消去してから、新しいマークをつけてください。32
「目的地が設定されていません。」	• 目的地を設定せずに、自動ルート探索を開始した。 • ルートが探索されていないときに、ガイドボタンを押した。	• 目的地を設定してください。⓳ • ルートを設定してください。⓳
「GPSデータエラー」	本機は、GPS衛星の軌道データを常に本体にメモリーしておくことで、測位スピードを速めているが、その軌道データのメモリーが何らかの原因で消えてしまい測位できない。	車のイグニッションスイッチをACCまたはON位置にしたときや、本機を動作したときに、このメッセージが何度も出る場合は修理が必要です。それ以外の場合には、見晴らしの良いところで本機を動作させて約20分ほどすると測位できます。

メッセージ	原因	処置
「GPS/FMアンテナの接続状況が変わりました。システムをリセットします。」	電源が入っている状態でGPS/FMアンテナを本体から外した。	GPS/FMアンテナの取り外しは、必ず本体の電源を切ってから行ってください。
「GPS/FMアンテナがつながっていません。」	本体にGPS/FMアンテナが接続されていないときに、メニューから「GPS天空図」「メーターパネル」などを選択した。	本体にGPS/FMアンテナを接続してください。
「目的地までのルートが見つかりません。PF03」	何らかの原因でルートを探索できない状態になっている。	一度電源を入れ直して、ルート再探索を行ってください。
「しばらくお待ちください。 この番組はただいま受信待ちです」	FM多重放送を受信しているが、選択した番組のデータが受信できていない場合に表示します。	番組のデータを受信すると画面を表示しますので、しばらくお待ちください。
「しばらくお待ちください ただいま多重局受信待ちです」	選局したFM多重局が受信できず、選択した番組 (ページ) のデータがない場合に表示します。	FM多重局を受信すると番組を表示しますので、しばらくお待ちください。受信できないときは、別の局を選局してください。
「しばらくお待ちください 表示可能なデータの受信待ちです」	選局した周波数が多重局でないとき、多重局が受信できない場合に表示します。	別の局を選局してください。
「この放送局は文字表示できません 選局し直してください」	本機では表示できない文字多重放送です。	別の局を選局してください。
「データエラー データエラーのためこのページは表示できません」	これまで受信した番組連動情報のデータを表示できなくなった場合に表示します。	－
「FM多重局が見つかりません もとの局に戻します」	選局画面から「自動選局」を選択したとき、他のFM多重放送が受信できない場合に表示します。	－

故障かな？と思ったら

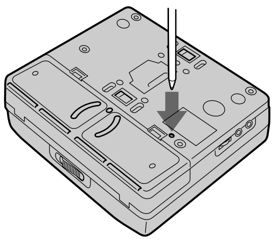
●のページに詳しい説明があります。

症状	原因および処置
現在地ボタンを押しても自車の現在地を表示しない。	•障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。→見晴らしの良い場所に移動してください。 •受信可能なGPS衛星の数が少ない。→メニューで「GPS天空図」を選び、受信可能なGPS衛星の数を調べてください。㊵ •GPSアンテナの取り付け場所が悪い。→なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。) •GPSアンテナと本機の接続不良。→アンテナケーブルのコネクターを確実に (カチッと音がするまで) 本機に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。) •使用する地域が正しく設定されていない。→「ポジションセット」で、現在使用する地域を設定してください。62
経由地や目的地に近づいても、アラーム音や音声案内が聞こえない。	•音声ガイドの設定が「OFF」になっている。→設定を「ON」にしてください。 •「ルートガイドの設定」をご覧ください。57 •音量が最小になっている。→音量つまみで適当な音量にしてください。
自車の現在地表示が実際に走行中の道路と一致しない。	•GPS衛星からの電波の誤差が大きい。(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります。) 74
電源を入れても画面に何も表示しない。	•外部入力に切り換わっている。→外部入力ボタンを押して切り換えてください。68 •カーステーションに確実に取付けられていない。→確認してください。 •シガーライターソケットへ確実に挿入されていない。またはゴミなどが付着している。→確実に挿入されているか、ゴミなどが付着していないかを確認してください。
画面の表示が消えてしまう。	バッテリー使用時に、オートパワーセーブ機能が働いている。→本体のいずれかの操作ボタンを押してください。81
メインメニューが表示されない。	カーステーション使用時は、安全のため、走行中は走行メニューのみ表示されます。 車が停車しているときのみ、メニューの複雑な操作ができるようになっています。
電源が入らない。	バッテリーが消耗している。→充電してください。
自動的に電源が切れてしまう。	バッテリー使用時に、オートパワーセーブ機能が働いている。→20分以上操作をせずに放置しておくと自動的に電源が切れてしまいます。81
バッテリーで使用可能な時間が短い。	•バッテリーが充分に充電されていない。 •どちらか一方のバッテリーが充分に充電されていない。 →2本とも必ず充電してからお使いください。

症状	原因および処置
リモコンのボタンを押しても反応しない。	• リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。→リモコンの発光部をリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの乾電池が消耗している。→乾電池を交換してください。⓼⓪ • リモコンの発光部に直射日光が当たっている。→リモコン受光部に発光部を近づけるなどして直射日光を避けてください。 • バッテリー使用中に、オートパワーセーブ機能が働いている。→本体のいずれかの操作ボタンを押してください。⑧①
IISなどの音声が出ない。	音量が最小になっている。→本体の音量調節で適切な音量にしてください。
リルート機能が繰り返し動作してしまう。	推奨ルートをはずれて走行している。→　車を安全な場所に停車して、「ルート再探索」をしてください。
リルートの結果が進行方向と異なる。	リルート機能では対処できない状況になっている。 →　車を安全な場所に停車して、「ルート再探索」をしてください。
電源を入れてもすぐに画面が表示されない。	ごく稀に生じる強いノイズなどの障害によるものです。 →　自動的に復帰しますので、そのままお待ちください。ルートガイドが終了していた場合は、ガイドボタンを押してルートガイドを開始してください。
画面が暗い。	• 明るさつまみが暗く設定されている。→本体側面の明るさつまみを確認してください。 • 回転ボタンで画面の明るさを暗く設定している。→リモコンか本体の回転ボタンで設定を確認してください。
GPS衛星をなかなか受信しない。	ワールド設定でポジションセットの設定が使用する地域と違う地域に設定されている。→ワールド設定を本機を使用する地域に設定してください。62
時計が一時間ずれている。	サマータイムの設定が使用する地域に合っていない。→サマータイム設定を確認してください。63
本機が動作しない。	リセットボタンを押してください。

本体のリセットのしかた

電源を入れた状態にして、先のとがったものなどで押してください。



症状	原因および処置
レベル1、2 (文字型表示、図形型表示) 表示ができない。	• VICS情報として送信されていない。→地区等により送信される情報は異なります。 • VICSの放送エリア外にいる。→受信可能なVICS局を選局し直す。
レベル3 (渋滞、規制、駐車場) の表示ができない。	• VICS初期設定でこれらの表示が「OFF」になっている。→「ON」にセットする。㊽ • VICSの放送エリア外にいる。→VICSの放送エリアに移動する。受信可能なVICS局を選局し直す。 • VICSのレベル3に対応したナビ研S規格の地図ディスクを使用していない。→VICSのレベル3に対応した、ナビ研S規格の地図ディスクを使用する。
FM多重放送が受信できない。	• FM多重放送の提供時間外である。→VICSの提供時間は朝6:00から深夜1:00までです。 • 車内でFM放送を受信するためには、別売りのアンテナ分配ブースターユニットXA-46FMまたは別売りのアンテナVCA-14が必要です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品)
を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

本体 (地図ディスクプレーヤー部、GPS/FMアンテナ部、モニター部)

動作温度　－10℃～＋50℃
電源　DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
消費電流　約1.5A
入力端子　カーアダプター端子
GPS／テレビ入力端子
音声/映像入力端子
出力端子　ヘッドホン端子

FMチューナー部

受信周波数　76～90MHz
音声出力　モノラル

ディスクプレーヤー部

ナビゲーションシステム研究会S規格準拠

GPSアンテナ部

マイクロストリップ平面アンテナ
受信周波数　1,575.42MHz (C/Aコード)
受信感度　－130dBm
測位更新時間 約1秒

モニター部

種類　液晶カラーモニター
表示方式　透過型TN液晶パネル
駆動方式　TFTアクティブマトリクス方式
画面の大きさ 5型、101.6×74.7mm、126mm (幅×高さ、対角線径)
画素数　168,480画素 (縦234×横720)

コネクションボックス部

入力端子　ナビバス端子
GPS/FMアンテナ接続端子
専用TVチューナーユニット接続端子
アダプター端子
アンテナリモート端子

充電式電池の持続時間

	使い方	CD	TVチューナー	ナビゲーション
NP-F530	持続時間	約150分	約70分	約110分
NP-F550	持続時間	約180分	約100分	約140分

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

本体　約151.5×57×144mm (突起部含まず)
リモコン　約40×28×128mm
GPS/FMアンテナ　約102×26×62mm (突起部含まず)

質量

本体　約900g
リモコン　約100g (乾電池含む)
GPS/FMアンテナ　約200g

付属品

単3形乾電池 (2)
カーステーション (一式)
ワイヤレスリモコン (1)
アンテナケーブル　85mm (1)
取扱説明書 (一式)
ご愛用者登録カード (1)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)

拡張ユニット（別売り）

自律航法ユニット　XA-150S
VICS対応FM多重ユニット　NVA-VF1
VICS対応ビーコンユニット　NVA-VB1
音声認識ユニット　NVA-VR1

別売り品

リチウムイオン電池　NP-F530および NP-F550
バッテリーチャージャー　BC-V500
ホームステーション　XA-86NV
モービルTVチューナーユニット　XT-50NV
ハンディナビ専用TVチューナーユニット　XT-15NV
カーステーションキット　XA-96NV
接続コード　RC-117（拡張ユニット用）
レンズクリーニングキット　KK-DM1
アンテナ分配ブースターユニット　XA-46FM
モービルFMアンテナ　VCA-14
音声/映像入力用ケーブル　AVK-715M
GPSアンテナアダプター　XA-65NV

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

用語集

実際の操作などに関して、詳しくは●内のページをご覧ください。

GPS (Global Positioning System) ㊵

このシステムはGPS衛星 (人工衛星) から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地 (緯度・経度・高度) を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

時計表示 64

GPS衛星には原子時計が搭載されていて、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータをもとに正確な時刻を表示することができます。

測位 (Positioning) ㊵

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

軌跡 ㊳

地図上で、自車がそれまでに走ってきた道につく印 (点) です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大1000ポイント (点表示) の軌跡を表示します。
(本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では1000ポイントまで表示されません。)

IIS (Integrated Information Services) ㊲

ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた、ドライブ情報提供プログラムのことです。
IISのドライブ情報の内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますが、どの地図ディスクをお使いになっても、同じ操作でIISのドライブ情報を見ることができます。
(IISが収録されていない地図ディスクもあります。詳しくは、地図ディスクのカタログや取扱説明書をご覧ください。)

外部入力 68

別売りのTVチューナーユニットを本機と接続して、接続しているモニターでテレビを見ることです。地図画面とテレビ画面との切り換えは、リモコンの外部入力ボタンを押すだけでできます。また、テレビの音声を聞きながら地図を見ることのできるサイマル機能もあります。

合成音声 57

本機では「規則音声合成方式」によって音声を合成し、出力しています。
これは、ひらがな1文字にあたる短い音声信号を、言葉に合わせて順々につないでいく方法です。声の抑揚や話す速度も、その言葉に最も合うように自動的に作成し、音声を合成していきます。
従来のように録音した音声を再生する方式と違い、地図ディスクに収録されているほとんどの地名や交差点名を読み上げたり、目的地までの距離や現在の時刻を声でお知らせしたりすることができます。

自律航法について ㉓66

GPS衛星からの電波が正しく受信できないとき、センサーの働きによって自車位置を検出し、地図画面上に表示する機能です。
正確な測位のためには、別売りの自律航法ユニットの車速センサーおよびバックセンサーを正しく取り付ける必要があります。

マップマッチング ㉓

誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。
この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

FM文字多重放送 48

FM文字多重放送は、通常のラジオ電波のすき間を利用し、様々な文字情報を「見えるラジオ」や「アラジン」などで見ることができるシステムです。

VICS (Vehicle Information and Communication System) ㊷

VICSとは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供する官民学共同の道路交通情報通信システムです。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

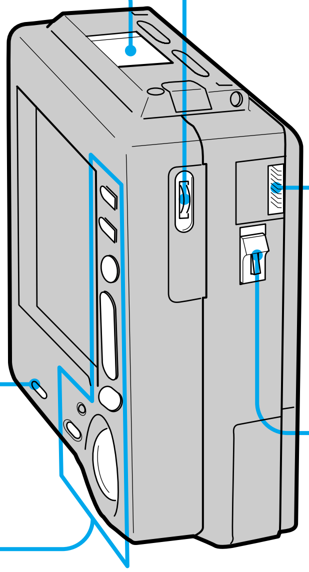
アルファベット順

各部の名称

詳しくは、(　) 内のページをご覧ください。

アンテナ取り付け部（70）
車外に持ち出して使うとき、GPS/FMアンテナ（付属）を取り付けます。
TVチューナーXT-15NV（別売り）を取り付けると、屋外でテレビを楽しめます。
ご注意
カーステーションから外した状態では、VICS情報を受信することはできません。

明るさ調整つまみ（13）
画面の明るさを調整します。



GPS/テレビ入力端子（70、72）
GPS/FMアンテナ（付属）またはTVチューナーXT-15NV（別売り）を本機に取り付けた場合、アンテナケーブルを接続します。

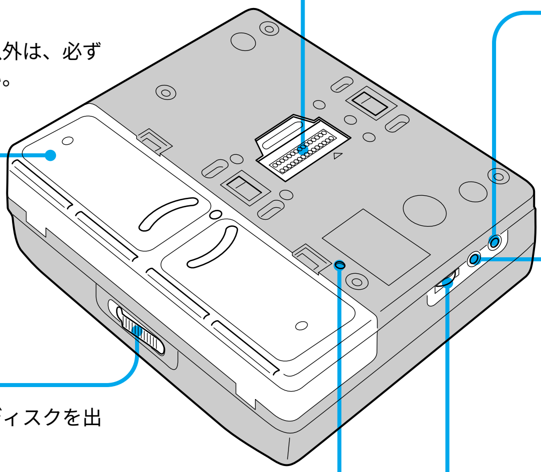
リモコン受光部

電源スイッチ（13）
緑色の部分を押しながら矢印方向にスライドさせて、電源を入れます。

操作ボタン
次ページ（裏表紙）をご覧ください。

ステーション取り付け用端子部（9）
カーステーション（付属）またはホームステーション（別売り）に取り付けるときにカバーを開きます。
ご注意
ステーションに取り付ける時以外は、必ずカバーを閉じておいてください。

音声/映像入力ジャック（68）
ビデオの音声/映像信号を入力します。
外部入力画面に切り換えるには、前面パネルの外部入力ボタンを押します。音声/映像入力用ケーブルAVK-715M (別売り) を接続します。



バッテリーボックス（69）
車外に持ち出して使うとき、別売りのバッテリーNP-F530およびNP-F550などを2本入れます。

ヘッドホンジャック（71）
ステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。
ご注意
歩行中は危険ですので、絶対に使用しないでください。

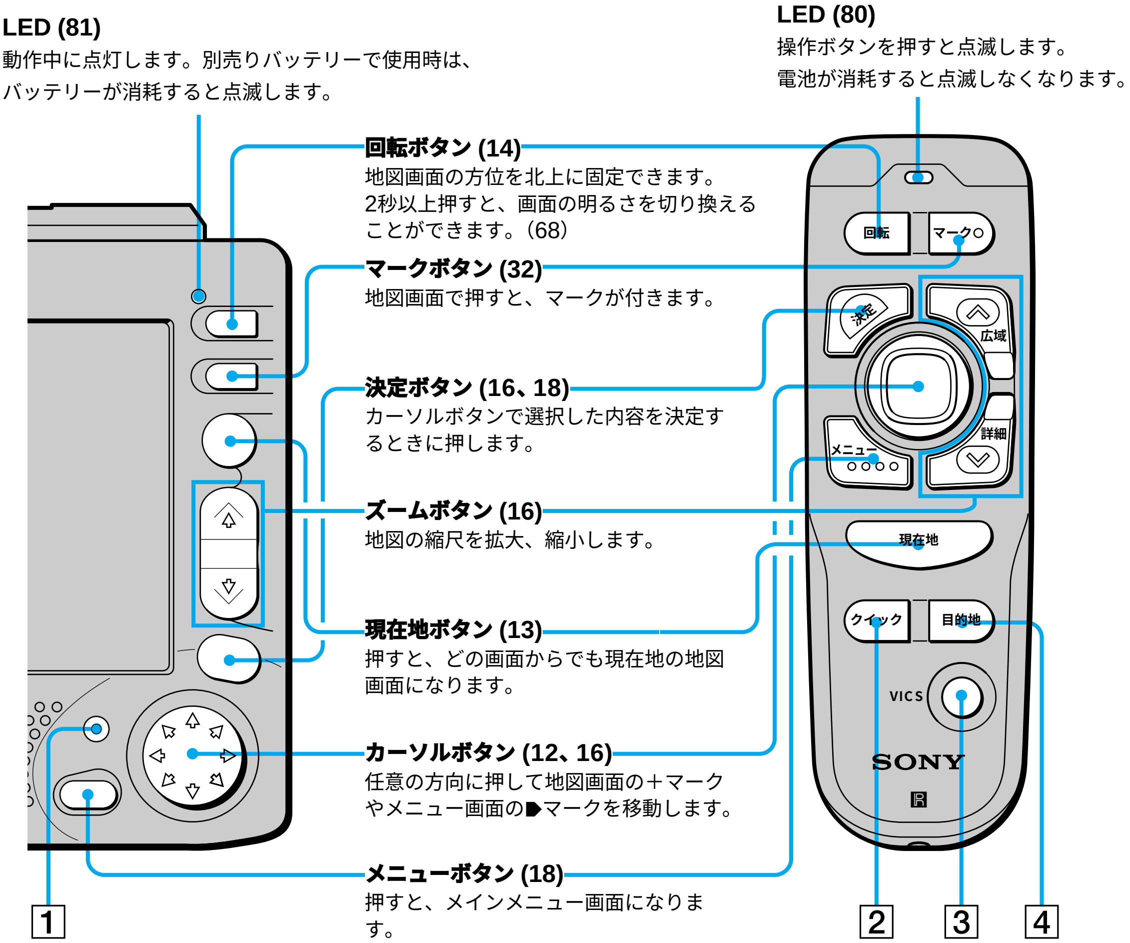
スライドスイッチ（9）
矢印方向にスライドさせて、ディスクを出し入れします。

リセットボタン（86）
本機が動作しなくなった場合や、自律航法ユニットを接続したカーステーションから他の自律航法ユニットを接続したカーステーションに本機を付け換えたとき、電源を入れた状態で先のとがったもので押します。

音量調整つまみ（71）
ヘッドホンの音量を調整します。

各ボタンの使いかた

本体と付属のリモコンの各ボタンは次のように対応しています。詳しくは、（　）内のページをご覧ください。



本体またはリモコンのみのボタン操作について

1 **外部入力ボタン** (68)
テレビ（ビデオ）を接続したとき、画面をテレビ（ビデオ）に切り換えます。外部入力画面に切り換えたときは、各操作ボタンの機能は異なります。

2 **クイックボタン** (61)
メニュー内の機能を割り当てて、よく使う操作をワンタッチで行うことができます。登録はメニュー操作で行えます。

3 VICS**ボタン** (42)
ボタンを押すと、VICS情報を受信する画面になります。

4 **目的地ボタン** (16)
押すと、目的地を設定する画面になります。
目的地を設定するだけで、現在地からのルート探索が可能です。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311　●名古屋(052)232-2611　●大阪(06)6539-5111

* I - 3 - 8 6 1 - 3 7 4 - 0 1 * (3)

Printed in Japan